京城日報

廿六日夕刊

定價　木紙一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓七拾錢　郵券代用二割増

廣告料　五號活字一行金七拾錢　三號活字一行金壹圓貳拾錢

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　松口欽太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社 京城日報社
電話(編輯用)三四五番・三一二三番　(營業用)三二六番・二二六番
振替貯金口座京城三〇〇番

總督訓示
土木主任會同に於て

過般土木局出張所長及び道土木主任會同第四日の席上に於て一同に與へたる寺內總督の訓示左の如し

數日來の會同に於て各員の陳述に依り地方土木事業の狀況竝に出張所に於ける直轄事業の大要を聽取るを得たり、詳間事項其の他の細目に渉りては夫々各部長官、土木局長をして指示せしめたるも尙大體に付一二訓示を與へんとす

既往五年の成績を案ずるに本府直轄施行に係る千萬圓繼續費治道工事は豫定の工程を進行し今や將さに其完結を見るに至らんとし、國庫補助に依る地方治道事業の進捗と共に一二等道路の修築は大に其の步武を進め、猶此間三等以下の道路の修築に在りても地方人民の熱心なる努力に依り其の成績觀るべきものあり、各種道路の修築相俟つて交通の面目を一新したるの觀あり、然れども治道事業の前途は尙遼遠にして今後各員の努力に俟つべきもの多し、曩に新政實施の初に方り道路網を確定して全道の交通脈絡を完うせむことを期せり、今既成の道路を以て此道路網に對比するときは其の工程に於て半以上に達せりと雖も尙主要幹線にして聯絡貫通を缺ぐものあり、又地方開發に必要なる路線にして未だ全く修築に着手せざるものあり、將來鋭意施設改良を加ふべきもの尠からず因て本府に於ては更に第二期治道計畫を定め之が實施を圖らんと欲し目下之が調究中なるを以て不日其の發表を見るに至るべし地方に於ても宜しく本府の計畫と聯絡を保ち國庫補助又は地方民力に依る改修の計畫を定め地方の開發上遺憾無きを期すべし

凡そ道路改修の目的は脈絡相通ずる道路網の完成を圖ると共に交通用具の改良に依り其の利用を熾ならしめ、以て產業の發達及び文化の普及に資するに在り、故に路線の選定に方りては能く緩急本末の順序を考へ隣接各道間に於ける彼此道路の貫通連絡に注意せざるべからず、此の點に關しては昨年の會同に於ても訓示する所ありしが各道の道路計畫に就て見るに猶其の趣旨の徹底せざるもののなきに非ず、重て注意を促す所以なり、又道路の利用を完からしむるには大に交通用具の改良を促さゞるべからず是れ本總督の年來注意せるに拘らず道路改修の進展に伴ひて車輛利用の隆に與らざるは甚だ遺憾とする所なり、由來車輛の利用が關係地方の交易狀態を刷新し延いて產業開發に資する所尠からざるは所在に於て經驗する所なり、然れども人肩馬背を以て唯一の交通用具としたる地方に在りては一朝にして多年の因襲を脫し、直に車輛の利用に移るが如きは容易の事にあらざるべし、各位は特に此の點に留意し適當の指導獎勵に依り交通用具の改良發達を促し進んで改修道路の利用を全うすることに努めざるべからず

治道工事に夫役を用ふるの制度は其の由來する所遠く經濟の發達尙幼稚にして納稅力の貧弱なる地方に於て勞役を以て公事に奉せしむるは誠に事宜に適せるものと認む、但だ之を用ふるに其の法を得ざれば此の良習も遂に所期の効果を收むるに由なからむとす、故に事の緩急に應じて機宜の措置を誤るなく、所謂民を使ふに時を以てし、以て永く此の良習を維持せむことを努むべし

道路の改修と共に最も注意を要するものは既成道路の保全なりとす、若し其の保全上缺漏あるに於ては改修の効果も亦將に沒却せらるゝに至らむとす、道路規則改正の結果一二等道路の常時の維持修繕は地方の負擔を以て道長官に於て施行することゝなり、其の範圍及び方法は同規則に於て明示する所なるも、破損を未然に防ぎ小破を直に補修する等、不斷の注意を怠ることなくんば負擔を感ずること少くして能く保全の目的を達し得べし、斯の如きは沿道住民と修路工夫との協力に俟つべきものなるが故に、當該面長を督勵し其の住民をして常時の維持修繕に努めしむると共に、工夫に對して常に嚴重なる監督を加へ互に相輪絡補して以て道路の維持保全上遺憾なきを期せざるべからず、元來道路の保全は專ら道路の改修よりも難し、然れども保全を完うするに非ずんば改修の效果を收むる能はず、改修の效果を收むる能はずんば巨額の費を投じたる治道事業も結局徒勞に歸するを免れざるべし、是れ既成道路の維持保全に關し特に努力を望む所以なり

近來地方產業の發展に伴ひ地方人民中往々沿岸島嶼の開發及び港津の利用に關し船溜漁港等の施設を企畫するもの少からず、元來此種の工事は其の施設の永久的にして多額の經費を要するものなるが故に、之が計畫又は設計は常に周到なる注意と精密なる調査とに基かざるべからず、若し急施を要とし輕率なる計畫を立て又は經費に制限せられて姑息の設計を爲すに於ては豫期の效果を擧ぐること能はざるのみならず、却て天然の地形を毀損し將來の經營に支障を及ぼすの虞なきを保せず、斯くては當に多額の經費を浪費して永久の不便を遺すのみならず大體の計畫に影響する所大なるが故に、此等事業の獎勵指導に方りては最も愼重の考慮を要す

灌漑設備の改良に關しては始政以來年々補助費を交付し又私人の企業に對しても相當援助を與へ之を獎勵する所ありたり、既往五年間に於て其の設備の改良に伴ふ灌漑面積は二萬六千餘町步に上り、產業の開發に裨益する所少からざるを見る、然れども全面中灌漑設備を有するものは僅に其の二割に過ぎずして其の他は專ら天水に依賴するの狀況に在り、故に今後の施設に俟つ所極めて多きものあるを以て深甚の注意を要す、又堤堰の改修未濟に屬するものにありては先づ其實況を調査し、之が施行に當りては彼此の緩急を考量し最も切實なる改修の計畫を定め改修後に於ける維持管理に關しては充分なる指導監督を加へ、改修の效果を確實ならしめむことを期すべし、一昨年土木事業監察の制度を設け土木局出張所長をして地方土木事業を監察すると共に之が援助を爲さしむることゝ爲したり、爾來其成績に徵するに大體に於て所期の成績を擧げたりと認むるも猶一二の注意を促すべきものあり、元來本制度は監察に依りて地方土木事業の監督を爲すと共に手不足なる道事業に技術上の援助を與へしめむとする趣旨なるを以て、道と監察官とは能く相互の連絡を保ち意思の疏通を圖り、同心協力以て共同の目的を完うせむことを期せざるべからず、又從來監察官の報告を見るに多くは工事上の現狀報告を主とするが如きも尙進んで之に關する經濟的效果に注意し道路の連絡利用の點に於て遺憾なきや、又地方の施行せる工事中緩急取捨を誤れるもののなきや等、地方の實況に照し愼重に調査考究し適當なる注意指導を與ふることは最も肝要の事項に屬す

官吏の規律を嚴守すべきは論を俟たず特に土木事業に從事する職員は日常請負人に直接するを以て動もすれば誘惑に遇ふの虞なしとせず、各員は勿論部下雇傭人に至る迄恆に誡飭己を持し官吏たる品性體面を保つに於て特に愼重の用意を怠る可らず

◎會期は延長せず
東拓案及び兩銀行案の握潰

貴族院に於ける未了重要議案は日支滿州兩銀行案及び簡易保險案の三案なるが簡易保險案は二十六日の委員會に於て政府案を可決すべく兩銀行案は現下の支那狀態を以てしては直に實行を見るは困難也との意見を有するもの多きを以て結局握り潰しに終るべく又た衆議院に於ける東拓案は二十五日の同志會議員總會に於て握り潰しに決定せるを以て會期を延長して迄審議を要する重要議案存せず何れも二十八日迄に議了すべければ會期の延長はなかるべし(東京特電)

◎鮮米移入稅復活案と與黨の否決

鮮米移入稅復活案に對し政府與黨三派は黨議を以て否決する事に決したり(東京電報)

◎政府と握潰案

衆議院に於て大勢握潰しと決したる東拓法改正案及び貴族院にて握潰さんとする日支滿洲銀行案に對し政府側は之が復活に就き猶一縷の望を屬し目下極力緩和運動中にして形勢挽回の見込み立たば會期を延長すべし

◎上院の兩案通過

二十六日貴族院本會議に於て妥協豫算案を通過し當期議會中重要問題の一たる簡易保險法案も上院委員會を通過せり(東京電報)

◎三派合同難

與黨三派合同運動は事實なるも少數の爲め結局不成功に終る可しと觀測せらる(東京電報)

◎雲南軍の納溪保持

北京來電によれば雲南軍は意氣尙衰へず目下納溪を保持し居れりと(東京電報)

◎戰局の戲曲的發展
日本海軍地中海游弋說=新聞紙界の注意惹起=海軍通ア氏の所論

日本軍艦若干隻が地中海に入れりとの報道は尙ほ未だ確かならざれど●●●●●●●●●●る新聞紙界の注意を惹起せり、有名なる海軍通アーチボルド氏はデリーテレグラフ紙上に堂々たる長文を掲げ他日今次歐洲大戰史の發刊せらるゝ曉には現下歐洲の國民が如何に多大の恩誼を日本に對して荷ひつゝあるかを悟る可し今や敵は●●●●●●●●●●●●●●●●中の消息を伺ひ知りて餘す所無し●●●●●●●●左れば●●●●●●日本艦隊の地中海出動の如き戰局の劇曲的發展といへども決して空想的計畫に●●●●●●●●●●●●●●あらざるにあらずや地中海は實に日本の通商上忽諸に附す可からざる緊要の舞臺なればなりと(倫敦電報)

◎露國皇帝の外交振り

露都來電に據れば、露國皇帝陛下は議會を去るに際し開院式に列席せる聯國使節と懇篤に握手を交換せられ就中本野駐露大使とは一三の友誼的言語を交へられたりと(倫敦電報)

◎ア提督逝く

病氣を以て獨逸艦隊司令官を辭任せるフォンポール提督は長逝す(倫敦電報)

◎帝國軍艦游弋

倫敦來電に曰く帝國軍艦音羽、春日、千歲の三軍艦は地中海に入り遊弋中なり(東京電報)

◎天洋丸事件

天洋丸臨檢事件に關し我政府は目下右事件の眞相を調査中にして不日英國政府に對し抗議するに至る可しと(東京電報)

◎太平洋汽船會社新設

米國紐育に於て太平洋汽船會社新に創立せられたり(東京電報)

◎岡陸相の病狀

岡陸相の病狀輕からず快癒迄には少からざる日子を要すべしと(東京電報)

◎鮮銀預金利率の引下
三月一日より實施に決定

朝鮮銀行の預金利率は從來東京及び大阪に於ける組合銀行の協定率に比し幾分の上步を保ちたりしが同行が昨年七月同利率の引下を行ひて以來內地銀行は八月に於て又も定期預金一分方當座及び小口當座預金一厘方の引下を斷行したる爲め同行の預金利率は內地銀行に比し定期預金に於て一分五厘當座及び小口當座預金に於て三厘の開きを生ずるに至りたり昨年當時朝鮮には朝鮮特有の事情ありて必らずしも內地銀行と步調を共にするの必要なかりしも爾來歐洲の戰亂は內地同樣朝鮮に對しても意外の好影響を齎し多年入超に苦しみし朝鮮貿易の趨勢は大に緩和せられ昨年を通じたる貿易の計數は却て出超を見るに至り自然金融は從來緩慢となり同行を始め各銀行業者に於ても尠からず遊金を抱きて之が消化に苦心するの狀態を呈せる一方には朝鮮金融界前途の大勢は差當り特殊の緊縮材料として豫期すべきもののなきを以て茲に始めて同行の預金利率引下を行ふの時機到來を見るに至れり仍て朝鮮銀行に於ては今回定期預金五厘方當座預金二厘方特別當座預金一厘方の利率引下げを爲し左記の通り三月一日より之を實施することに決定したり

一定期預金　年五分
一當座預金　日步五厘
一特別當座預金　日步一錢

▲利率引下に就て
木村理事談

別項朝鮮銀行の預金利率引下げに就て同行の木村理事は語りて曰く昨年十二月末に於ける朝鮮銀行券の發行高は三千百四萬圓の多額に上りしが本年二月二十五日の現在に於ては二千八百萬圓に下り即ち六百萬圓の回收を見たり、而して朝鮮銀行本支店出張所を合せし預金は昨年末より現在までの期間に約五十萬圓を增加し、貸出は同期間に百五十萬圓を減少したるが故に結局二百萬圓の資金回收せられたる次第なり更に朝鮮の貿易關係に於ては一月三十一日までに金を加へて三千七萬圓の輸移出超過を見、今日尙貿易狀態は順調に進みつゝあり、如此銀行資金の流通預金貸出の狀態、及び貿易の趨勢の三原因は相依り相扶けて朝鮮に於ける金融緩慢の勢を馴致せるに加へて日本內地の金融狀態は既に一段落を告げ季節の繁忙時期も經過し大體に於て落付きたりと謂ふべく又朝鮮に在りても例年の例として少くも七八月の頃までは緩漫の大勢を持續すべきを以て此際朝鮮銀行に於ても預金利率引下げを斷行し金融の調節を圖るは適當の處置なりと信ず

◎露貨交換率

日滿聯絡貨物引換代金換算率は東淸及び烏蘇里線の分は二月二十五日以降當分の間日貨百圓に付露貨百六十六留とする旨通知ありたり

平壤

▲陸軍官舍新營　師團常設に伴ない平壤に陸軍官舍新營せらるゝ事となりしが其の計畫の內容を聞くに官舍總數は四十棟約七十戶にて上級官舍は一戶建とし下級は二戶一棟とすべく場所は現兵營前より裁判所官舍附近を選び來る四月工事に着手大正六年度中には竣工の豫定なり尙ほ現在の兵營は一聯隊の全部を收容するも何等の狹隘を感ぜざるに付此際增築等の事はなからんと

▲勸業計畫脫稿　久しく平安南道勸業係に於て調査立案を續けたる大正五年度より九年に至る勸業五年計畫は此程漸く脫稿せしを以て既に勸業係の手を離れ昨今審査係に移り其の內容の審議を盡しつゝあり最後の決定は尙ほ多少の時日を要すべしとの事なり

▲平壤組合會議　大正五年度平壤學校組合歲入出豫算は此程決定目下印刷中の由なれば近々各議員の手に配付し多少の時日を存して第一回學校組合豫算會議を開會する事となるべし

▲松蝗蟖驅除成績　平安南道に於ける松蝗蟖の最も多く害を與ふるは大同、中和、龍岡、安州、鎭南浦、江西の各府郡なるが道廳にては道令を以て松蝗蟖驅除の事を定め昨年四月より年末まで第一期驅除として所在の村民を驅り出し勵行せしめしが其の結果山野面積國有民有合計五千二百町步驅除の効蝕八百三十二石繭五百餘石卵八石を得悉く之れを燒却したるが從事延人夫四萬二千五百人の多きに達せる由

▲平南の火藥消費　其筋調査最近一箇年間平安南道內に於て消費する火藥類は工事用爆藥三萬五千三百貫鑛山用二萬五千三百貫獵用二千三百餘貫合計六萬三千貫に達すと尙ほ道內に於ける小銃の數は六百三十一挺拳銃四十三挺なりと

大郞の人物(一)
白水將軍(旅團司令官)

□電話を掛けると來てもよからうと云ふ調子官らしい口吻なのですぐに俥を飛ばす。玄關を入るや否や、まだ刺を通じないのに奧から「ズツとお入り、誰も居らぬ」と云ふ大音聲、聲に隨ひズツと通れば八疊の一角に趺坐して快く迎ふる將軍の姿は流石禪で洒脫した丈けあつて恬淡たるものがある。「家族は學校の關係から內地に置いて我輩は此を相手に從卒と二人だ—氣樂なものぢや」と傍の珠數を指しては老眼鏡の上から顏を伸ばせて相手の顏を見る「是れは先日頂戴した御感謝の酒だが流石見事なものだ。先づ一杯」と徑三寸餘りの椰子の實殼の杯に滿々と注ぐ。其瓢は大きさは一升を容るゝに足らん歟と思はれる程のもの。そしては一々自ら立つては斷を取つて來、ビスケットを薦す、禪を語り武を說じ、其間端然として趺坐微動だもしない。「聞き學問は十何年かやつたが。まだ仲々得醇が何が何やら」と是れも亦禪味湧然たる一言、日は廿四日、午後五時頃の陽が硝子を越して室を射した。

▲鳳凰山の植林　平南平原郡自德面公平面に跨る鳳凰山八十餘町步の植林を計畫し地元鮮人より總督府に山野貸下方を出願中なりしが二月二十三日附許可されたりと

釜山

▲府協議會開會　廿五日午前十時より府廳樓上に府協議會を開き大正五年度府歲入出豫算及び水道特別會計竝に府立病院特別會計、屠畜場特別會計等を審議したり

▲井上中將通過　井上交通兵團長は廿五日午前五時四十分釜山著直に連絡船壹岐丸にて內地へ向ふ

◎鮮米課稅反對

朝鮮米移入稅復活案衆議院を通過せざるを保しがたしとて大阪の鮮米移入業者は萬一通過せば營業上永遠に失ふ所多大なりとし大阪朝鮮貿易商組合は二十三日役員會を開き同案が成立すべき形勢とならば機宜を誤らず即時反對運動を起さんとて朝鮮に於ける關係者及び各團體にも電報にて其旨通牒したり(大阪)

人事消息

▲中村彥氏(總督府技師)　江原道へ出張中の處二十四日歸任
▲疋田技師(土木局詰)　廿六日出發大阪に向へり
▲小川省吾氏(編輯課長)　二十七日より城南、黃海二道へ出張
▲武村茂氏(實業家)　二十五日夕入京天眞樓へ
▲中村滿醫學總裁　東京赤十字病院入院加療中の處二十二日全癒退院
▲首藤雄南部六旅團長　職務視察の爲め入京中の處二十七日朝着見俊從武官と同行元山に向け歸任の途に就く筈
▲大倉喜七郎氏(外五名一行)　二十六日午前八時三十五分南大門發列車にて退京
▲高瀨梅吉氏(鮮銀營業課長)　二十四日朝釜山乘船內地へ
▲平川爽次郎氏(辯護士)　二十五日朝釜山乘船內地へ

香南雪北

大邱有志に依て發起された慶北物產會社資本金五十萬圓は昨年其筋へ認可申請をしたが書類不備の點で却下されたと云つて居た▲發起者は直に再び申請すると云つて居たが丁度歐洲の大戰亂がおッ始つたので控へて居た▲處が此頃財界も大分活氣付き殊に大邱には兵營が出來ると云ふので人氣は大に昂上した▲其處で機を窺つて居た發起者等は好機會として愈々出願の手續をした相な▲何でも其の業務は慶北重要物產の買入れ賣渡しを目的とし其他鳥渡三井物產の營業に似た事をやると云ふ▲確實で有力な此種會社の發起は結構なるで各道に一箇所位は斯う云ふ會社があつても好からう▲朝鮮で一番古い女學校は釜山の高等女學校だと云ふ▲同校の創立は十年以前で卒業生は本年三月の分を合せて三百八十三人だ▲生徒は殆んど朝鮮全道に亙つて居て朝鮮教育界に重きをなされて居る▲同校長の十年前の生徒の風紀に關する談に▲創立當時女生徒が三味線を稽古するのに閉口した▲當時市內各所に料理店や飲食店が澤山であつたから▲世上の風紀が非常に惡く其等の女と一緒に三味線を習はせた家庭もあつた▲其處で校長先生三味線退治に苦心して大英斷をやつて西洋音樂を始めヤットの事で三味線退治をやつたと云ふ▲島渡創立當時の苦心の跡が見えて校長先生の盡力を感謝せねばならぬ

首相狙撃の 連累收監

大隈首相狙撃連累者として二十五日午後八時田中弘幸、飛田卓治收監されたり（東京電報）

大連に於ける 自動車班

奉天公主嶺間の耐寒試驗を無事終了したる須崎中佐以下の陸軍自動車班は二十四日午後大連關東都督府倉庫前にて其の自動車を一般の觀覽に供し水谷輜重兵大尉一場の講演を爲し男子婦人小兒等多數の參觀傍聽者ありたり一行は二十七日大連出帆の嘉義丸にて歸東の途に就く筈（大連特電）

ナイルス氏 飛行禁止

ナイルス氏は廿六日和歌山練兵場に於て飛行を開始したるが由良要塞地帶てに右飛行を禁止されたり（東京電報）

色とりぐの美事な出來榮え 女子技藝學校の展覽會＝觀覽者多し

南大門內京城女子技藝學校の生徒製作品展覽會は二十六日の午前から同校內に開催された接待の少女達に案內せられて先づ北方の會場に入ると茲は

▽生徒の成績品 の陳列場で有つた、入口からとびとびに拾つて見て行く作文の綴本には優しい情調の抒べられた山遊びの記や展覽會にお誘ひする書翰文などが多く有つた此外學科としては書方、圖畫等何れも

▽立派なものが 多かつた特に羽織帶衣類刺繡などは專門のものだけに何れも參觀人を感心させた成績品陳列場を見て終つて今度は南方數室の製作品展覽場を縱覽する陳列場の庭には三箇所ばかり天幕を張つて來賓の休憩所に充て

▽生徒が茶菓の 饗應接待をして居る、陳列場は四部室に分れ西の方から入ると第一室は子供の帽子エプロン海軍服ネクタイなどが處狹きまでに陳列して有る、どれを取つても刺繡の意匠なり地布の

▽色合模樣など まで新らしく好ましいものばかりであるそれに直段が非常に安く市の店で一圓四五十錢位のネクタイが三四十錢で買へると云ふ風だからエプロンなどには大分買約濟の赤札が付いて居つた、第二の部室は袋物などが多く陳べて有る

▽繡珍の煙草入 れ財布、名刺入、琴の爪入、オペラバック、羽衣袋抔が澤山ある婦人達の目を惹く所であらう第三室は造花部でストーブを中央にした一室は鉢植や瓶に挿したのや籠に活けたものや色々の花が艶を競ひ香を爭つて居る中央の

▽薔薇の花には 香水が注がれて室內に蒸して居る紋の花をお揖樣にねだつて居る子供も有つた第四の室は人形が多く並んで居たお姉さん達が丹誠凝して縫ふて呉れた派手模樣の振袖著た人形達は大きな目をクリクリさせながらお節句の近づいたのを悅んで居るやうである

豹と格鬪 兄弟力を協せ 遂に之を斃す

咸南東古川面豐陽里鄭乾鎭（四五）方には飼犬を取らんとする大豹現はれ二月十五日午前五時半頃一頭の大豹悲鳴を揚げて急を訴へしを聞きたる乾は夜の明くるを待ちて斧一挺を持ち弟戊鎭（三）と共に犬を拉し去りたる內家より東方約八百米突の小松林中を搜索せしに午前六時半頃山中にて乾鎭の下方より大豹突然同人に飛び蒐り顏面を搔き挘りたるに乾は直ちに携へたる斧を以て豹の面部を打ちたるより上唇より下唇に掛けて負傷させたるより豹は愈々死物狂ひとなりて更に乾鎭の右手に飛びかゝり兩前肢を以て同人を挾みて離さざるより格鬪中同人の弟戊鎭は棒を以て突りつけたるより有繫の猛豹も遂に打殪れたるが乾鎭は格鬪の際兩眼の上下右手胛に擦過傷を負ひたりと

京城女子技藝學校の展覽會

十餘名の家族 猛火に包まる 鐘路署の警官梯子を掛て救助す

京城蓮池洞百十番地質屋潘岐植方より二十五日午後四時三十五分頃出火したるより各常備消防隊總督府醫院工業傳習所東亞煙草會社義勇消防組等の消防隊馳付け鎭火に努めたるが折柄西の風強く殊に同家は建物宏大にして同家の借家も連接し居れることゝて頗る混雜し火元及び借家の家族等十二三名は第四門內に於て火焰に包まれ逃路を失ひ居れるを鐘路署の警官等は外壁に梯子を掛けて救ひ出すなど一時は中々の雜踏なりしが結局一棟四十六間の內三十三間の燒失及び衣類家具質物等合計約四千圓の損害を以て同五時四十分頃鎭火したり消防に際し同洞の尹英植（三二）は足に釘を踏拔き尹主岐植も微傷を負ひたり失火の原因は同日午後四時頃二名の來客あり主客三名喫煙談話したる際其吸殼の綿に點火したるものゝ風に煽られて發火するに及びたるものなりと

髑髏が欲しくば金を出せ

慶南山淸郡三壯面坪村曹鶴淳の嫂鄭日秀（五一）は大正元年舊十二月頃亡母の墳墓を何者にか發掘せられ其頭蓋骨を持ち去られ其頭蓋骨入用なれば附近の山中迄金員を持參せよとの脅迫狀を受けたるより被害者日秀は其頭蓋骨の行衛を搜索せんと同郡丹城面城內里の醫生李在元（三九）に其占ひ方を求めたるより在元は俄かに惡意を起し大正三年舊一月十五日夜日秀に宛て亡母の頭蓋骨が入用なれば金六百圓を同面德山より山淸邑內に通ずる叺峙に持ち來れ若し應ぜざれば更に他の墳墓を發掘し居宅に放火すべし殺害すべし等の文句を並べたる脅迫狀を無記名にて認め之を日秀宅の門內に投げ込み置きたるも被害者は之に應ぜざりしが其後所轄憲兵所にては犯人嚴探中の所前記李在元の所爲なりしこと判明し此程遂に逮捕したり

通行人を縛る

京畿道廣州郡中垈面文里李夾植（四五）は南斗灘なるものと共謀し本年一月二十八日夜同面長旨里の山中道路に於て通行人なる南哲祚及び李應文の二名を引つ捕へ荒繩にて縛り上げて毆打し各所持金及び衣類等を強奪したる爲め二十六日京城地方法院にて懲役十年の處分となりたり

電流を盜む

京城淸進洞酒幕業朴春植（四十）は京城電氣會社より全部四個の電燈を引込み供給を受け居れるが內房には引込みなかりしより不便の爲め昨年五月二十日頃より密かに線側に設置スイッチより更に新線を繫ぎ足して內房に六燭光の電球を附し引續き本月十四日迄盜用し尙他に既設六燭光一個を八燭光の電球に交換し居れること發覺し鍾路署にて取調べの上檢事局に送らる

瓦斯が使へぬ 二十七日の午後

京城古市町瓦斯本管工事の爲め二十七日午後一時より午後三時半迄市內一般に亙り瓦斯供給を中止する由

花屋の店に春が來た

三日前から三寒の日が續いたけれども陽光は正に春の暖かさを帶びて來た、試みに郊外に遊んで見ても水溫みたる池や沼には小波して楊柳の枝さへ霞に煙る春は來た、併し猶且最もなつかしいのは街頭花屋の店の草花であらう、まだ溫室咲きの可憐な福壽草ではあるけれ共紅いアネモネの花は首傾けて何をクヨクヨ思案顏、肉厚い蕊の根にゴザヤゴザと集まり咲いたヒヤシンスは又靦腆者の態度である、春にゆかしき櫻草は白、海紫と色さまざま形さまざまに咲き出でゝ小さき可愛らしき其の花は若き乙女の顏にも似たるかな、其他梅、桃、連翹、椿、南天、木瓜の花など花屋の店には春が來た、ヒヤシンスの根は戰亂のお陰で高くなりましたとは主人のはなし、香りゆかしき黃い葉牡丹の花などは一入に日本の春を語り顏に見える

遊蕩青年の盜み

山口縣長門生れ當時京城北米倉町河村菓方雇人佐藤嘉（二三）は商業學校の豫科を卒業せるが昨年十月十五日夜新町遊廓第一樓木富に登樓したる際同樓抱娼妓揚巻事內田きんの部屋に忍び入り同人の郵便貯金通帳（七圓預金）一冊其他雜品二點を窃取したるを手初めに十二月廿五日夕刻には知己なる古市町中野方同居人都築某の許に至りたるに同人の不在なるに乘じ銀側懷中時計一個及び附屬品（十二圓三十錢）を窃取し越えて本年二月十二日正午頃中學洞の甲斐某方に注文取りに行き其の歸るさ家人の不在なるに乘じ銀側懷中時計一個及び附屬品（十圓五十錢）を窃取したる外昨年二月より十月中旬迄に新町まねきに雇はれ中賣掛代金十九圓六十七錢を橫領して第一樓の娼妓に打込み消費し居たること發覺し鍾路署に引致され取調べの上檢事局へ送らる

牝豹を射止む

咸南高原郡山谷面高田里及び同面德山里附近には近來猛獸の出沒すること夥しく一般里民は不安の念に驅られ居るを以て所轄憲兵所にては之が驅除方に努め本月十二日山谷面高田里の山中に於て狩獵者輪竹伊太郎なるもの身長五尺體量約二十貫の牝豹一頭を射止めたるが尙ほ引續き驅除に努め居れり

憲兵警官武術大會

四月十日より開催の各道警務部長會議中を機として全道に於ける憲兵並に警官の擊劍及び柔道の武術大會を京城に開くべく總監部より全道八十餘名の劍士に對して其れぐ通知を發したりと

馬賊の群より

四 鴨綠江岸 一攫千金を得 再攫天下を得

幾何自由な仕放題な支那の軍隊でも博奕を打つたり遊んだり爲たい爲めに志願して入營して來た鮑越を立派な兵士として取扱つた譯は無いが、彼は遊び人だけに頭々に上長官に取入つたり

同僚の氣に入られ る事が上手で有た、入營してから一二箇月して彼は輕帶官の隨兵となつた。此の間彼は必ず猫を被つて居つたに相違ない、忽ち小隊長に任ぜられた。長い間の辛抱は到底六箇敷い彼は漸く博奕を始めた。彼の兵舍の中は恰で賭場と一緒にして居た。終ひには彼の隊には支給される彈丸さへ一つも持つて居る者も無くなつた。而し殆ど同じ樣な人間ばかり

集まつて居る軍隊 の事であるから、彼の部下は皆な從服して絕大人の爲めなら何時でも命に別條の無い限り働いて見せると誓つて居つたさうだ。彼は此の頃から大變な野心を抱く樣に爲つた。何時まで斯うして居つたつて結局が鬱帶官位がドン詰りの出世だ。此んな事をしてグズグズして居るよりも

馬賊にでも爲つて 一旗折れば、五萬や十萬の身代を拵へるのは朝飯前の仕事、アツよくば滿洲位は己れの物に爲るかも知れぬと空想はそれからそれへと擴がつて行く。考へて見ればモウ軍隊生活なんぞは一刻だつて馬鹿々々しくなつて仕方が無い其處で彼は或晩腹心の

兵士等を十五六人 を自分の部室へ集めて例の支那式の激越した口調で男子生れて醉生夢死するは寧ろ生れざるを可とす、而かも社會の最も蔑視する所の兵士と爲つて僅かの月給に甘んぜんより寧ろ一攫して萬金を得再攫して天下を取らざる。若し諸君にして靑雲の志あらば

僕不肖と雖も方寸 既に天下を呑むの策あり、如何と云ふ樣な按排な事を云ふと元來が無智文盲の上に破落漢ばかりで有るから一錢でも金が多く取れて、博奕さへ打てれば世の中に正邪も善惡も有つたものではない。特に平常から肌合の好い鮑の言葉だから

二つ返事で合點だ 承知だと一同が贊成の旨を表すと、それならば善は急げだ、愚圖愚圖して居ると此の間から彈を質に入れたり鐵砲を賣飛ばした事でも暴露た日にや、お互に首が危いからと其の晩の中に各手に持つて居る銃劍を其儘に暗に紛れて鳳凰城を脫け出した

官憲の威力は弱し 此の地方ならば落ち行く目あては鴨綠江の上流だ。二三年する內には部下も集つて來る、さうしたなら大擧して平原に押し出す事にしようと、虫の好い計畫を立てた鮑の一行は道々強盜を働きながら長甸河口に達した。

雛祭の御料理 くちとりのいろいろ

慈姑二十個程の皮を剝きて一個を八つ位の楕形に切り極軟かに茹でゝ笊にあげて置きます次に鍋へ砂糖百目入れ玉子の黃か白味を少々入れよく攪混ぜ

▽二合程の水 を加へて火にかけ掻き廻してゐますと砂糖の灰汁がよくとれ上の方へ汚物が浮いて來ますからそれを掬ひ取り他の鍋へ布巾で漉し移し其中へ笊の中の慈姑を入れ十分間程弱火にかけ茶匙二杯の鹽を加へます、別に

▽甘藷一本の 皮を剝き一分位に小口から切り水へ入れて灰汁を拔き熱湯の中に入れて茹で笊に上げて冷めないうち手早く裏漉しにかけ（冷るとよくつぶれません）これを前の慈姑の中へ入れ火を强めて御飯杓子で煉りあげ皿にとり冷まして重に盛り込みます玉子を五個水から入れて二十分程茹で水の中へとり冷まして皮を剝き

▽白味と黃味 とを別々にし白味に黃味がついて居たらば布巾で拭き取り兩方とも別々に裏漉しにかけ黃味の方へは砂糖十匁鹽茶匙半分とを加へて再び裏漉しにかけ白味へは五匁の砂糖と

▽茶匙一杯の 鹽とを加へて裏漉にかけ布巾を俎の上に擴げ黃味を一分位に四角にならし其上へ白をのせ小口から布巾共くるくると卷きて其儘蒸籠へ入れ十分間程蒸し布巾を去り冷して小口から三分位に切ります。螺蠑を熱湯の中に入れ

▽貝が靑色を 呈す樣になつたらば取り出し、きれいに周圍のふたを取て捨て縦に薄く切り味淋醬油で一たん螺蠑だけを出し煑汁をもつと煑詰めてから再び螺蠑を入れ薄くかいたおかいをばらりと入れて直に下ろします、重の眞中へにしき玉子を盛り其右へきんとん左へ

▽螺蠑を盛り ます、飾りとしてとろゝ芋を茹で裏漉しにかけ少々の紅を混せ又裏漉し絞り出し袋（五六錢で乾物屋にあり）に入れきんとんの上へ線を引いた樣に絞り出すと誠にきれいです

轉居

京城府岡崎町六十九番地
川島喜榮
同電話二二五番

▲廿五日夕入港弘濟丸一、二等客三等（二百廿七名）

至廉至便國民必備の寶典
大正五年國民年鑑
四六版壹千頁並製五拾錢　上製壹圓　郵稅各八錢
値上げせぬ間に註文せられよ
紙價は暴騰し印刷料は値上げとなり、遂に出版界は既刊書籍の二割增しを決議せり。されど國民年鑑は依然として壹千頁五十錢の安價を支持せんとす。抑も本書の各社會に歡迎せらるゝ主なる理由は、其の實益無比無盡藏なること、定價の至廉他に匹儔を見ざる點にあり。今や出版界は紙價の暴騰と、印刷料の値上げを以て大恐慌に襲はれんとす。されど國民年鑑は暫く此の恐慌に影響さるゝことなく、普く各社會人士の註文に應ずべし。蓋し是れ本社が本書各種の原料を事前に仕入し置けるが爲に外ならず。今後若し本社貯藏の各種原料盡くるが如きことあらば、或は値上げ斷行の厄に已むなきに至るやも計られず。値上げの厄に逢はさる內至急御註文あらんことを切望す。
發賣所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

活氣縱橫の三月號　東京本町　博文館
中學世界　定價二十錢　郵稅二錢
強がり弱がり……三宅雪嶺
闘士生活に就て……安部磯雄
小說 珊瑚を碎く……鈴木かけ
現代名士の兄弟……野次郎
語學の基礎を學べ
諷刺諧謔 先生と生徒
日章旗と軍艦旗
南洋旅行植物採集
各校受驗實記
青春の誘惑……太刀雄

冒險世界　定價十五錢　郵稅二錢
探偵奇譚 墓標の底
軍艦高千穗 獨艦を擊沈せる功名談
歐洲戰亂と飛行機
悲壯慘絕 八阪丸の最後……山脇船長
不良少年膺懲記……原田指月
獨帝
西太后

謹告
保險金參千圓　共保生命保險株式會社
右は故夫儀前記會社と保險契約致居候處今般死亡に付頭書の金額受領致候間此段契約者各位に謹告候也
大正五年二月廿六日
京城府慶雲洞六十四番地
保險金受領人　李閔天

大邱市民の歡喜(二)

饒かなる富を藏する其背後地

▽大邱＝大邱

大邱の名は先づ京釜沿線中の大驛として素通りの旅人にも其名を記憶せられ更に一千年の昔錆びた新羅の昔を語る慶州への通路として

■人口に膾炙し 尚進んでは南鮮有數の農業地、農産物の集散地として知られ少しく朝鮮の事情に通じた人士間には二百年の古い歷史を有つた藥市の開催地として有名である、抑も大邱と言ふは、と今更らしく改めて大邱の紹介でもないが、慶尚北道々廳所在地たる大邱府は日人二千戸八千人、鮮人五千七百戸二萬五千人(大正四年末現在、慶北警務部調査)あり平原に

■展開した市街 として町の構成快き許りに餘裕があり

(慶尚北道廳、覆審法院、地方法院、臨時派遣隊司令部、第二獨立本部、第三大隊本部、第九師團中隊、慶北憲兵隊本部、憲兵分隊、警察署、衛戍病院分院、府廳、郵便局、[illegible]出張所、稅關出張所、[illegible])

其他の官公衙が置かれてゐる、然し大邱を語るには地方行政區劃に隨つて其府管內の情況のみを以てしても決して其

■全班を知悉し たとは言へない、如何しても其附近即ち慶尚北道を研究して或は行政警務或は物資集散其他一道萬般の中心地たるべき大邱に歸納して來なければ的確を得たとは言へない最大急行に乘じて慶尚北道管內瞥見に及ぶ所以である

▽慶尚北道瞥見

『本道は東方日本海に臨み、北西南の三面は繞らすに大小の山脈を以てし河流は此等の山脈に分派せられ周圍より中央に向つて集り洛東江となる』と慶北道案內の劈頭に記してある樣に其中央は

■大邱を中心こ して平坦肥沃の大野を爲し其平野には米麥大豆栗等の雜穀から蔬菜、果樹、桑樹(養蠶)煙草等の栽培に適し山地には金銀、銅、石炭の鑛産もあり日本海に面した海岸郡では漁業も相當に發達し更に牛を主として豚鷄等農家の副業も馬鹿にならず―是等に對する其筋の指導方法宜しきを得て年一年生産を增し富を加へて行きつゝある本道は三韓時代に於る辰韓、弁韓即ち新羅、任那の二國を包含し更に

■洛東江を境こ して西北諸郡は古の伽耶國に當ると云ふ而して地勢上大邱が其中心地と爲り爾來三百年今日に及んでゐる爲めに附近には慶州を初め名所舊蹟の訪ふべき處鮮くない最近戸口(大正四年末、警務部調査)

內地人	[illegible]戸	[illegible]人
朝鮮人	[illegible]戸	[illegible]人
其他	[illegible]戸	[illegible]人
計	[illegible]戸	[illegible]人

一府四十郡五百十二面、之を道廳總轄し道廳所在地たる大邱を中心として

■道路八方に廣 がり自動車人力車相通じ更らに南北に京釜本線貫通し近く大邱浦項釜山に至る輕鐵敷設せられんとしてゐる此等の總ては中心地たる大邱、其現在及び將來こそ大邱の人士と共に正に注目すべきものなのである

大邱市街＝元町通りの繁榮

●痲疹患者四十二名 平南順川郡殷山憲兵出張所にては管內の衛生狀態良好ならざる模樣なるより最近荒井上等兵は補助員一名を隨へ檢病的戸口調査を行なひし所意外にも四十二名の痲疹患者を發見したるに付き郡廳と協議の上豫防消毒を行ひたる結果病勢稍々衰滅の傾向ありと尚ほ同附近は昨年來痲疹流行し冬には五名の死者を出せりと

電話開通 一八五七番
朝鮮煙草株式會社 京城長谷川町 京城販賣所
新製品口附三十二本入五錢
須磨 明石 景品附大賣出し

宗教界消息

▲薰組會 [illegible]七日(日曜日)午前十時より[illegible]
▲妙心寺休講 [illegible]
▲南山本願寺 午後二時より[illegible]
▲日本基督教會 長谷川町日本基督教會に於ては[illegible]
▲救世軍 二十六日(土曜)午後八時[illegible]
▲禁酒會月次演說會 二十七日午後七時[illegible]
▲京城基督教會(南米倉町) 午前[illegible]

●東亞煙草飛躍記念賣出し 東亞煙草株式會社に於ては先般來より愛煙家各位の愛顧に酬ゆる第一歩として大和、武藏野、ダリヤ三種煙草の大廉賣を斷行すると共に各製品の向上に全力を傾到し益々大飛躍をなす筈なるが今回京城市に限り其記念の爲め景品附大賣出しを決行しつゝあるが景品種目の如きは米一俵、時計二枚、毛布等其他實用的にして一本も空籤なしと

台所 その日く

△嫁菜のひたし物 嫁菜のゴミを除き水にて能く洗ひそれを茹で再び水へ取りアクを出して、絞りゴマをゴマに切り、醬油にて洗ひそれを絞り置き、別に鰹節出しに淡口醬油をまぜ合せた物を、前の嫁菜の上にかけ搔き廻して鉢に盛り上より切ゴマを振りかけて薦める

商況

債券現物特電
[illegible]

公債直取引特電
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

雜報

●石油更に强固 [illegible]

錢高を唱へんと模樣なり近々二三十[illegible]

絕對に强固にして各社の態度[illegible]此反動安を免れざる可し

●金巾類こ眼先 [illegible]値上げを見るに至らんか又々多少の[illegible]

●群山の米況 [illegible]

●清酒個々値上す [illegible]一圓五十錢の範圍に一圓乃至[illegible]値上げ爲す迄に至る小賣に對し[illegible]

確實 迅速 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

下關相場
[illegible]

南大門の廻米
[illegible]

京城雜穀
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

生魚市場
[illegible]

各地商況

○釜山(二十五日穀物) [illegible]
○木浦(二十四日の穀物) [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店

仁川期米
二十六日前場 一錢安に入る[illegible]
錢と跳ね買聯に七十三[illegible]

市場零聞

▲前場小變動 [illegible]
不條理の可決に一向無頓着に人氣は斯[illegible]鮮米課稅案[illegible]
▲前場の手振り [illegible]
▲依然保合ひ [illegible]
▲鄭船こ商船 [illegible]
▲泉尾土地株 [illegible]

仁川米豆取引所
廿六日の四月限 [illegible]

利 仁川米豆取引所仲買人 仲買店

北濱だより
[illegible]

▲鮮米課稅案 [illegible]
々さし入り込み來[illegible]精米の注文頻[illegible]大活動を開始[illegible]
產政略より畢竟議員と[illegible]

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三番
○大冒險大衝突 [illegible]
○新派大活劇 怪力美人 [illegible]
○西洋人情劇 五郎 [illegible]
○新劇 紀州竹若丸の傳 [illegible]

東明町 詩館 電話一〇五〇
[illegible]

黃金館の大飛行 一月二十五、二十六日大阪城東練兵場に於ける空前の大壯擧 米國大冒險家チヤーレスナイルス氏 大飛行
黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七
[illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番
[illegible]

新龍山 佐久良座
三府合同歌舞伎大一座 [illegible]

廣島名產 山まゆ織 新新品揃ひ 廣島市大手町一丁目 髙橋光時商店 振替大阪三〇六九

商標 美濃屋 ミマヤ 京城東大門外安甘川 美濃屋味噌醬油釀造場 場主 森久七 電話一三三七番 振替三一九〇二番

THE GLORIA CYCLE Co. LTD. COVENTRY
MANUFACTURED BY THE KENNET CYCLE Co. CAMBRIDGE ENGLAND
グロリヤ自轉車と云へばミノヤ
ケンネツト自轉車と云へばミノヤ
京城 ミノヤ自轉車店 電話三三七三番

婦人科 產科 入院分娩應需
京城旭町壹丁目 中央婦人病院 院主 衣笠茂 (電話一三三四〇番)

比較は最良の撰擇法なり
サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 (一三二一、一二〇六、一一六一三)(一二六〇、一二六二)
振替貯金口座 京城三三三番
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部、器械部 電話 一二二一 振替貯金口座京城二二三

外科 內科 花柳病 皮膚病
京城壽町(本町二丁目入る) 島崎病院
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

…苦し本案通過せば朝鮮…民…殺るべしと述べ正式會議に入り二、…渉し多數を以て原案を可決せり(東京電報)

…は…没し家畜類を掠奪するのみならず…の大猪を追ひ出し一頭を打止しが…

…衝珍(…)上炎祭 …頭上二丈五六尺の高所より落下せし…二百間內外の土塊に押し潰され無慘…
…治一郎、米穀…、守部[illegible]、池田政吉、三浦幸一郎、谷道[illegible]、中江五平、大堀一郎、高橋、同[illegible]、原田豐介、[illegible]一式村茂、熊谷[illegible]、中尾佐[illegible]、田中富治…三名(九九名)

[illegible]

越後大評定

第百四十二席 早川貞水口演

美作の注意

此とき喜兵治小栗の前に兩手を支へ 喜『殿樣此人は御察しの通り、江戸は團子坂の丑右衛門と申して、加州樣の御出入の植木屋の次男金五郎と申す者で、其丑右衛門と私とは朋輩でございまして、此度白山御殿下の植木屋六兵衛と云ふ者から手紙を貰つて私方へ尋ねて參じた者、流石親の仕込で、仕事もよく出來、人物もなか／＼悧發で御坐いますから當分當地へ留置いて、御屋敷の菊の手入は此度此の金五郎に賴まうと存じます、毛頭怪しい者では御坐いま

せぬ確に此喜平治が身分は御引受けいたしますから、決して御心配なく又是から始終私の名代として、常用に差出しますから、何分御目掛け下し置かれますやう、願ひ上げます、美『ア、左樣か、どうも此二三日後に庭前の石を据直して、一寸垣根を繕つて居つたが餘程彼は茶の心得があると見える、喜平治貴樣は植木屋職人の方は申分がない、上手であるが、茶の方は心得が少しもないから何うも雅致が乏しいと云ふ慨みがある、流石加州家の出入だけあつて、金五郎と云ふ其若い男は、茶の心得を以て拵へて行くから、一段の風情がある 喜『左樣で御座いましてなか／＼器用に行ります 美『金五郎とやら、此處へ參れ 喜『コレ／＼金五郎御前樣だ、御召しになる、御禮を申し上げな 金『ヘエ……是は殿樣、只今喜平治親方から申し上げました通り、私は加州樣へ御出入りの團子坂の丑右衛門の伜金五郎と申します道樂を致しまして親爺が存命中勘當され兄貴も、私を寄附けませぬ、そこで此節番頭で眼を患つたので貴谷の不動樣へ願を掛けて遊りましたから、此度不動樣へ御禮參りに行くと六兵衛に申しました所、六兵衛が、私の親爺も友達にして居つた喜平治と云ふのが、今越後で是れ／＼だから、手紙をやらうと云つてくれますから、其手紙を持つて當地へ參りました、私も兒童の間から、親爺から敎つたのは菊で御坐いますから、此度御屋敷の菊は、私が引受けて致します心得で御坐います、希うか何分御贔負に願ひ上げます 美『然らか其は好い按排だ、時に喜平治 喜『へエ 美『其方には娘があつたな 喜『左樣で御坐います 美『往く／＼は金五郎を養子に致したら宜からう 喜『其處は如才も御坐いませぬ『へえ私も實は其心算で御坐いまして其故斯うやつて一緒に御城中へ參つて居ります、希うか又私同樣御贔負に願ひます 美『金五郎とやら、茶を立て遣はす、一服喫め 金『是は恐れ入ります、頂戴いたします』美作は其から茶を立て、金五郎と喜平治に振れ舞ふ、喜平治は茶の心得がないから迷惑さうに茶碗を廻したり、捻くつて見たりして居る、金五郎は可笑くつて耐まらぬ、小栗はニヤ／＼笑つて居る、斯う云ふ事は少し身分のある人には却て面白い、金五郎は石州流の大茶人で御坐いますから小栗もそれを見て取り 美『金五郎お前の手前はなか／＼感心な所がある予に一つ茶を立つてくれ且大名附の半點を吾た所が面白い 金『どうも恐れ入ります、然らば御免を蒙ります、

お聞きなさい

▲景品附の無賃乘船 備中小田郡笠岡港と香川縣多度津港との間に二ツの汽船會社が大競爭をオッ始め乘船賃を漸次低下して行つたが遂に無賃にして終つた處が競爭は之だけで濟まぬ更に乘客に景品を添へる事にした、此で乘客はホク／＼もの

▲顏に謎を描く流行 露都の婦人間には關の花だの蝶だの鳥だのを生地の顏に描く事が流行つてゐるその紛によつて色々の意味を持たせる事も出來る例へば小さな黒い蝶を描いて置くとそれが心の與の表象になると云ふ風で此又顏畫工がいゝ商賣になるさうだ西亞だけに何處か間拔けてゐておもしろい

泌尿器病專門
入院隨意（診療夜九時迄）
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話四一九番

▲傳染病は牛皮から 兵庫縣川邊郡川西村の一部落は鞣皮を業とせるが二箇月前より某々數名が顏面頸部等に膿の如き腫物を生じたるは支那から輸入した牛皮に牛疫炭疽熱の病菌が附着し居り鞣皮の作業中人體を冒したもので其重症は次第に骨を破壞し生命を奪ふに至るさうである

▲蛇で金の强請 東京牛込區築土町内國新聞會社吉田三千雄方の元配達夫八木操小川竹一の兩懶落生は解雇されたる怨みに莫大小のボール箱へ蒼大將十二匹を入れて持參し廿一日夜吉田方の奧座敷へ此蛇を放ち金錢强請中逮捕されたとは新手の脅迫手段

▲百六十萬圓なら 第十一乾坤丸沈没の災を蒙つた神戸乾汽船會社は十七日第八乾坤丸（四六〇〇噸）賣却の披露をしたが買人は八方からの申込なので東京某回漕店では大奮發の心算で八十萬圓といふ値段をつけた處が『バカユウナ』といふ返電で取合はぬのに驚き聞いて見ると船主は百六十萬圓でなければ手離さぬといつてゐたさうだ

二月廿八日九星
舊正月廿五日乙未
本命二黑坤取先勝

[illegible]

本品は又復（大正四年十二月十五日）國産展覽會に於て宮内省御買上の光榮を辱ふせり

東京で一番 高評の一番 賣行の數を有する 美人となる化粧料

ホーカー液

ホーカー液の効
▼色を白くし、キメを細かにし
▼アレを防ぎ皺をなくし
▼白粉下、白粉のトキ水に一番よく生く
▼子供衆の肌を丈夫にし
▼男子方の剃刀後、朝夕洗面後によく
▼四季のロヤケ、白粉ヤケを防ぎ
▼香よく香水代用になし
▼常に缺かさず用ひらるれば暫時美しき若々しき美顏となる

名譽金牌於衛生博
定價小瓶廿錢 中瓶四十錢 大瓶八十錢 送料内地八錢 滿鮮三十錢
内外到る處の小間物、化粧品店、藥店に販賣す
若し品切の節は直接本舖へ御注文被下候御注文の節は切手代用にて可
近來僞物品を賣る不正商人あり御注意の上御求めの節は本舖へ御一報願上候
本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替東京二四一一八番

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醬油
醸造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の醸造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

最上 醬油 （キハク印）

下總國野田町
茂木七郎右衛門醸造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

滋養强壯料

專賣特許（本邦及英米佛國政府）
◎肝油ドロップス
◎複方肝油ドロップス

▼甚しき臭味を忍びて肝油を飲食すべき時代は去れり▲

河合龜太郎氏創製

肝油含量一顆一瓦にして營養素及び可溶性含窒素物を以て成る滋養强壯料なり
肝油の含量を半減して、有機酸・有機燐及び石灰・鐵那等を含有せしむ

▼如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし▲
一、顏の色が若白くて艶の無き人。
一、皮膚の紋理が惡く、ザラ／＼して居る所謂あれ性の人。
一、身體一般に貧血して、何と爲く弱く感冒に罹り易い人。
一、日暮から物が見えぬ夜盲、及び營養不良から來た眼病の人。
一、手足が冷て寢られぬ人。
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒。
一、頸が細長く、頰が瘦け、咳嗽や痰の人並より多く出る、所謂結核素質のある人。
一、結核に罹つてゐる人。
一、骨の故障、即ち佝僂的の人。
一、其他色々の骨病に罹て居る人、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人。
一、身體一般に脂肪氣の少き人。
一、病後及び産後の元氣を速く回復して壯健になりたい人。

用法
肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用
五歳以下 一回一顆又は二顆 一日二顆乃至四顆
十歳以下 一回二顆又は三顆 一日四顆乃至六顆
十五歳以下 一回三顆又は四顆 一日六顆乃至八顆
大人 一回三顆又は五顆 一日八顆乃至十五顆
普通菓子の如く食すべし、又細片に噛り冷水或は微温湯にて嚥下するも妨げなし

定價
五十顆入 一壜金七拾錢
百二十顆入 一壜金一圓卅五錢
複方百顆入 一壜金一圓廿五錢

（現品縮寫圖）

ミツワ石鹼 ◎ ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 電話浪花長特四四四八、四四九、四〇五番 振替東京七一〇番

古人の垂範は現代の鑑戒

蘇峰學人解題 市川鶴鳴原著

帝範臣軌國字解

三六版鵝クロース上製サック附 金五拾錢 郵稅六錢

曩に本社が成簣堂叢書第七篇として、我國校勘學の泰斗狩谷棭齋手校の帝範臣軌を出すや、甚大なる天下同好者の歡迎を受け、忽ちにして品切となり、已むなく江湖の需に應ずる能はざりしが、今回德川寛政時代經學の大家市川鶴鳴著の『帝範臣軌國字解』を刊行して、世間篤學者の希望を充すこととなれり。

抑も帝範は唐太宗貞觀二十二年、帝親ら撰して太子に貺へ、以て帝王の儀範を垂示したるもの、臣軌は則天武后垂拱元年、后自ら撰して人臣の軌法を示したるもの、倶に是れ盛唐帝后の親製する所に係り、後世範軌として雙稱し、君臣の鑑戒、明鏡是れ爲すもの、治に所以ある也。而して此の國字解は其の解釋、簡明、精確にして、而も要領を得、其の識見を以て解釋を日本化したる、千古の通儒の講義を聞くが如く、卷中の深旨奥義は洞然として解く。特に卷首には蘇峰學人の解題ありて、鶴鳴の爲人を詳說し、一句一唱三嘆の妙あり。本書は單に帝王爲政者の龜鑑たるのみならず、何人と雖も必ず一讀すべき典籍にして、正に是れ明窓淨几の上、第一に讀む可き良書也。通俗國民讀本と稱するも過當に非ず。

新刊發賣 取次所 京城太平通 京城日報代理部 振京三〇〇

金泉醴泉間自動車發著時間表
金泉 織居自動車支部 電話四八番
當分右の通り運轉す

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸 三月廿一日 正午出帆
相模丸 三月三日 正午出帆
高砂丸 三月十二日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路（沿岸航路を除く）開航時刻
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
宮島丸 二月廿八日 午後五時出帆
吉辰丸 三月五日
天智丸 二月廿八日
×安東丸 三月九日 午後二時出帆
×城津丸 三月三日
○木浦、釜山、長崎行 ▲は鎭南浦に寄港
鎭南浦、大連行
安東丸 三月五日 午後二時出帆
城津丸 二月廿八日
チヨイサン丸 二月廿八日
大連直行
漳州丸 三月五日 正午出帆
群山、釜山、横濱行
潮州丸 三月十二日 午後四時出帆
福州丸 三月十二日
清津、浦潮行（元山出帆）
須磨丸 三月六日 午後二時出帆
臺北丸 二月廿八日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
安平丸 三月十六日 午後四時出帆
新高丸 三月廿四日
▲中國四國沿岸各港行乘客に對し下關門司迄割引を以て連絡乘船の特別賣出致
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇五番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

京城日報 第三版
廿七日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 合資會社 京城日報社

財界時言（二月廿六日）

○朝鮮銀行は金融の大勢に鑑み、定期預金五厘方、當座預金二厘方、特別當座預金一厘方の利率引下を決定し、三月一日より之を實施する旨發表せり。

○鮮銀の利下げは、殆ど豫定の事實として吾人は之を期待したりき。蓋し世界の變局に際し、我邦の經濟界は頗る之が好影響を蒙り、延いては我が朝鮮の財界も亦豫期せざる好影響を喜ぶの大勢に在り。殊に比年輸移入超過の裡に沈淪したりし貿易の關係は、俄かに出超の趨勢に變じ、從つて金融界は春來益々緩漫に赴き、各銀行業者は遊金の消化に苦しむの有様にして、前途に未だ緊縮の原因の認むべきものなし。此時に當り朝鮮銀行が朝鮮の中樞金融機關として預金利子の引下を斷行せるは、金融調節上機宜の策なりと謂ふべし。

○衆議院に朝鮮米の移入税を復活せんとする議案現はれ、委員會は原案を可決せりと云ふ。吾人は此問題は繼續して否決せらるべきを信じたりしが、今衆議院を通過すとも、貴族院に於て否決するに決したりと傳ふ。素より當然の事なりと謂ふべし。鮮米關係當業者は該問題の提起せられしに鑑み、之が通過を防止すべく反對運動を企つるありと聞くも、要するに杞憂たらむのみ。多數が百姓議員のお土産案なり、寧ろ冷眼を以て之を迎へて可なり。

○但だ吾人は、斯かる愚案の出づるにつけても、内地人の殖民地に對する智識の乏しく、同情の薄くして、動もすれば殖民地の發展を阻み、帝國の大陸政策と矛盾せる結果を來さむことを憂へずんばあらず。殖民地は殖民地に非ずや。殖民地に非ずんば、帝國の殖民地は何故の殖民地經營ぞ。何故の海外發展ぞ。殖民地と母國との關係は決して獨立せる政治的經濟的團體間の關係の如きものに非ずして、相扶け相補ひ、以て殖民地は母國の爲め、母國は殖民地の爲め、利益の共通を計り、大陸政策の完實的發展を計るべきに非ずや。茲に思ひを致さずして、母國の都合の爲めに、常に殖民地の利益を犧牲に供するが如き間は、帝國の大陸發展は前途未だ覺束なしと謂はざる可らず。

旅中所感

有望なる鑛業の將來 野田東拓副總裁談

▽慶南の富源 今度は慶尚南道と忠清南北道を見て來た、慶尚南道に於ては、山林と謂ひ耕作と謂ひ恐らく朝鮮第一であらうと思ふ。鑛物に於ては殆んど皆無かと思つたところ、決して左樣ではない、東萊附近に鐵山が發見され、又馬山附近にも鐵山の發見がある由である。郡救に於ては金鑛が發見され且つ著手されて居る、斯くの如き有樣であるから、忠清南道に於ても亦種々の鑛物が發見されるかも知れぬ、吾輩は斯く思ふ。晉州に於ては道廳について種々承はり施設の整ふて居るを見た、

▽論山平野の將來 一日代名なる鑛滿にも行つたが、其規模の宏大なる事は想像の外であつた、但し今日の有樣は衰微も衰微、實に何ともお氣の毒と云ふ外はない。それから三日間慶尚南道に居り、論山にも行つた、論山平野の如きは忠清南道に於ては勿論、朝鮮中でも良い耕作地であると思ふ、東拓は此地に千五百町歩餘の地所を有して居る、將來朝鮮として將又東拓としても樂みのある所と思ふ、

▽多望なる鑛業 それより百濟の古蹟扶餘に行つた、此處にも東拓は千百町歩餘の田地を所有して居る此處は地味に於て論山ほどでない但し此の附近には金鑛が諸所に發掘せられ、將來なほ發見されるであらうと思ふ、又錦江を隔てゝ西側の方はタングステンの本場であるらしい扶餘に於ては無論舊蹟を訪ふて百濟の昔を弔ふた譯であるが、唐の爲めに滅ぼされた百濟族も、支那の今日の有樣かくなりしを見ては聊か慰むるところがあるだらうと思ふ、到る處で有志家の世話になつたが、官憲及び有志家が地方を愛して居ることは、恐らく内地以上だらう、扶餘の如きは殊に然りと感ぜられた、扶餘より公州に行き、道廳について種々の事も承はつたが、著々手をつけて居るのを見れば、將來は大に効果を擧ぐるであらう、殊に忠清南道の如きは鐵道の沿線、殊に全義などは鑛山金山の區域になつて居り、全部に亙つてタングステン其他鑛業の採見地になつて居る結構な所と云ふべきである、又忠清北道に入り鳥致院より清州に行つたが、此の東に方りては扶餘を中心としてタングステンの本場となつて居る、清州より忠州に到る間はタングステン又は金山にあらざるなしといふ有樣である、地味より云へば山と云ひ田地と云ひ忠南道より劣る事は勿論であるが鑛物に於ては或は優るならんと思ふ又歸途に清州に寄り官民の歡迎を受け種々改良施設のある事を承はつて居るが、先づ該道に於て主なる産物は葉煙草だらう、煙草の如きは何の制限もなしに少々は放膽に奬勵あらんことを希望する、

▽河川改修の急務 又河川の如き洛東江と云ひ、錦江と云ひ、或は何れも見たところの流れには、至急に改修施設が欲しいものである、決して金が要る事で何とも云へぬが、入れた金が永く停滯固定もせぬだらう、直ちに數年中に歸つて來ると思ふ、故に一日も早く資金を投せられて穀物の増殖を當局に於て計られむことを希望に堪へぬ、大體僕の見たところについての意見を述ぶれば右の樣なものである

春淺し 前川千帆筆

大阪財界通信

△露國の新註文 舞鶴海軍工廠造兵部にては昨年十月以來露國の註文に係る明治四十一年式砲架三十五臺を製造中の處既に大半竣成したるが海軍省にては更に引續き露國の大註文を引受けたる由にて去二十日技術本部の高松海軍中佐は舞鶴工廠に出張し技術上の打合をなしたる結果同工廠に於ても大規模の軍器製造を引受く事に決しをれりと

△鑄管トラスト 大阪鑄管製造各工場は今後一層步調の統一を證すべき目的にてトラスト的同盟をなすと

△川崎造船社債 川崎造船社債二百五十萬圓は浪速銀行との間に威立年利七朱の一年据置償還の條件にて契約を締結すと

△朝鮮航路異動 大阪商船仁川航路は船腹缺乏の結果二十五日建の天智丸を缺航し北鮮經由浦潮航路は須磨丸を二十九日建並に三月二十一日建にて就航せしむべしと尚ほ鎭南浦航路は二十三日建を以て城津丸初航海をなしたり

△米價低落影響 内地米の低落と共に代用米とせる鮮米の輸入は頓に減少の傾向あり之れに加ふるに滿洲大豆粕の輸入も減少し居るは一般農家の米價低落のため在米買控へをなし金融逼迫し居る關係ならんかと思はる

△沖糖成立進捗 大阪糖業者を中心とせる沖繩製糖設立の計畫は昨今大に熟し目下發起人高津久右衛門氏は東上して東京側の意嚮を纏めて居るが歸阪の上株式募集に著手すべく南區鹽町二丁目に事務所を設置

△攝津紡增資說 攝津紡績は現在資本金三百五十萬圓を五百萬圓に增加し百五十萬圓を增資せんとの説あり起因は本期の配當を三割五分（前期三割）にせんため增錘四萬錘に對する資金の必要よりなりと

△紡績界の警戒 二十三日漢口發大阪來電に沙市に暴動起り漢口方面に波及しつゝある模樣あり之が爲め紡績界は警戒を加へつゝありと

△未曾有の盛況 大阪砲兵工廠は未曾有の盛況を呈し昨今は約二萬六千五百人の職工活動しつゝあり内女工二千五六百名なり

△職工爭奪豫防 關西に於ける各種工業の勃興に依る企業資本金一億圓に對する職工は尚ほ七萬人を要すべく今後如何にして補充なし得べきかは刻下の大問題となり居れるに過般岡山縣下に於て大阪[illegible]業會社と鈴木商店との間に技術者職工の爭奪說あり次いで大阪市内の工場に於ても盛んに爭奪戰行はれ遂には工場主對職工間の圓滑を缺ぎ同盟罷工さへ惹起する有樣にて甚だ寒心に堪へざるものあるより大阪工業會にては之が豫防策を講じつゝあり

△沙市貿易不振 沙市及び宜昌に於ける本年一月の貿易高を昨年の同期に比するに輸出貿易は良好なりしも輸入貿易は時局の影響を蒙りて約二三割減なり殊に綿絲は三四割減少せり

燈臺の話 7

全北於青島の燈臺守 G.O生

火光の種別

燈臺の光は澄み切つた好しい光を出さればならぬのが本當である、それ故以前は區分さへ油の種類を精選して最も完備なものを使用して居つたが、近頃は科學の進步で燈臺に『アセチリン』『アセトン』瓦斯を使用する様になるし、以前使用して來た彼の百六十度の石油は、近來餘り使用しないで、普通の燈臺では燈用の石油を一般に使用する様になつた併しながら瓦斯燈の火光は、天候の不良なる場合、又は濃霧の立つ際などには、光達の程度に非常なる狂ひを生ずるさうで、彼の有名なる英國の『カセリン』燈臺や、日本の尻矢岬燈臺は電氣燈を採用して居るが、其光達距離は餘り强いものでない、

日本最大の光力を發するのである尻矢岬の燈臺は、光達は僅に十八哩半に過ぎないのであるが、之れに反し、油を用ひて五十萬燭光を照らす、土佐の室戸岬の燈臺は、其光達實に二十三浬といふ、日本第一位に位するのに徴しても明かである。

燈臺の火光の種類は、先づ白紅綠の三種類があるが、此の三種の火光を様々の方式に使ひ分けて、或は不動の光を發せしめ、又は閃光を生ぜしめ、時には二色を併發して燈標に紛ふことなき特徴を發揮せしめることもある、今其の燈火の光を種別すると次の樣である

一、不動燈 とは、一定の光度を持續するものを云ふのである

二、閃光燈 とは、單純なる閃光を發して暗黒の有様が比較的に長く續くものを云ふのである

三、群閃燈 とは、二個以上の閃光を群發するもので中には白色の閃光と紅又は綠色の閃光を互發するものもあるのである

四、不動閃光燈 とは、不動光中に一個の白色又は紅綠色の閃光を發するものを云ふのである

五、不動群閃燈 とは、不動燈光中に一箇の白色又は紅色の閃光を群發するものを云ふのである

六、明暗燈 とは、順次に光度を增して光度極まれば更に之を減じて終には暗黑を生ずるものを云ふのである

七、明暗燈 とは、不動燈光にして時に假然暗黑を生ずるものを云ふのである

八、廻轉閃光燈 とは、漸次光度を增す間は明るけれども漸次光度を減じながら全く暗黑にはならぬものを云ふのである

九、互光燈 とは、紅白若くば綠白の光を一定の周期を以て互に閃發して少しも暗黑を生ぜざるものを云ふのである

斯くの如く燈光に色分けがあつて、燈火にも種別があるのは、其理由を簡明せんに、各燈臺が互に混同せざらしむるが爲めであつて、不動光に閃光を交ふるが如き、之れは近來海運の發達に伴ひ、船舶や海員の不動光明が俄かに北緯を增せしためで、如何に强烈であつても、單に不動の燈光のみを照らして居つては、一見して燈臺の光か、他の光かを判別するに困難いからである、故に閃光を發する燈式は閃光を强し明瞭ならしむる方法としては最も効果の大なるもので、之れは千八百七十四年に、『チャンス』燈臺建設會社の學術顧問官故『ジョン、ホプキンソン』博士の考案したるもので、世界各國に採用されたが、それも海上の交通殷賑を極むる今日では、最早効果充分なりとは認められんのである、即ち其の缺點を補ふ方法としては、綠紅などの燈光が次第に增加して來たのである、最新式の燈光に『ライトニング』『ライト』電閃光といふものがある、此は折射器の廻轉盤が水銀を盛つた盤上に支へられてあるから、摩擦の際に摩擦の程度が最少限に行はれ、重量も輕減せられるから、從前の機械よりは餘程容易に廻轉するので、それから發する閃光は、一秒時間の十分の一の時間を隔てゝ發せらるゝやうに迅速なものである、其有様は電光のやうなものもあるのである。

仁川米豆取引所

△二十六日後場 △大阪前場十三圓八十三錢 ... 七十九錢の ...

▲後場小變動 大阪の不勢を受けて十四圓七十錢丁度 ...

▲本日の現物界 ...

二十六日の四月限 十四圓七十錢 十四圓七十二錢 十四圓七十五錢 十四圓六十九錢

實買取組高

二月限 七百石

三月限 四萬二千六百五十石

四月限 五萬千百石

營業案内

眼鏡專門 各種レンズ 金銀赤金銅 張 製作販賣 京城黄金町二丁目 振替京城一二九 宮川大學堂

美術額椽 神代杉類 塗椽類 唐木類 金額類 船來椽 椽止付 各種製造 京城明治町（郵便所前）二 淺田商店

發明品は専賣特許機械應用 本店 京城旭町 靜岡市 合名會社出張所 振京三五九

製造販賣 水車 唐箕 京城本町二丁目（元讚町） 土井米吉 電話一三二六番

滿鮮第一 漬物味噌問屋 嶋屋本店 京城岡崎町

夜間撮影 夜寫し開始 寫眞界の革命 空素電球之利用 出張御用等の方や急な御注文は 京城寫眞館 電話一〇四〇

新案 カフエー、タイガーの名物 ハイカラどんぶり 是非試に召上れ出前も致します 南大門通三丁目電話二五七一番

食料品 下川益一 京城本町三丁目 電話 振替京城

京都名産 佛具佛壇 堅牢にして優美なる商價品御望の方は京都本場製一手販賣元小倉佛具店へ御註文を乞ふ 京城本町二丁目七番 小倉佛具店 電話一五七一番

國產獎勵と朝鮮牛 朝鮮牛の特徵 ▲見落す勿れ畜産業界▼ 性質溫順にして勞力耐へ粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし 爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむるの必用なし 近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せる之れ農家畜産界の一大福音として賞讃せらるゝに依る 輸送は朝鮮及び日本内地に於ける鐵道運賃の特約と關釜聯絡に於ける汽船運賃により迅速確實を以てせり ▲農業家畜産界の諸彦益々御引立あらん事を奉希上候 活牛移出問屋 釜山鎭驛前 上杉古太郎商店

種と苗 蔬菜、草花、山林用種子、果樹、山林、觀賞苗木、球根花卉、和洋農具、各種肥料、驅除劑 春季說明附營業案內無代進呈 京釜線鳥致院 電話 振替京城 朝鮮興農園

婦女畫報 御會食（…殿下） 前田侯爵家の…太公 人格の魅力 村上博士 淨心術 義士の母 山椒太夫 定價金廿五錢

姸を競ふ三月號 女學界 毎日來る手紙 若き嫁姑の爭 若き生命 毒蛇 浮氣で通した女學生の懺悔 如世實皇后榮華の夢 思春期の危險 夫婦生活安全策 東京本町 博文館 定價金二十錢

朝鮮總督府法定消毒劑 無害無毒 アイゼル 猩紅熱其他傳染病豫防新藥 井上藥品部 龍山

預金利息改定廣告 一定期預金 六ヶ月以上年利五分 一當座預金 日步五厘 一特別當座預金 日步壹錢 右大正五年三月一日ヨリ實施可致候 大正五年二月 朝鮮銀行

第三十七回帝國議會

貴族院（二十六日）

▲一瀉千里の勢

貴族院は二十六日午前十時開會諸般の報告後直ちに日程に入り

●大正五年度各特別會計歳入歳出追加豫算案●

●同豫算委員長簡單に原案可決の旨を報告し目賀田男現在の剩餘金の狀況より推して若し國家有事の日は如何に處するかと質し武富藏相若し萬一不幸起らば其の時に臨み機宜の處置を施すの外なし今日に於て之を豫定し難しと答へ委員長報告通り可決

此の時議長は衆議院廻附の大正五年度追加案六件を日程に追加し議題として如何と諮り異議なく追加案六件の審査期限を定むる議に移り岡部長職子より期限を附せずして審査終了次第報告すべしと發議し異議なく之に決し

●北海道會法中改正法律案●

南岩倉具威男委員會に於ては修正可決せりと報告し報告通り修正可決

●大正二年度歳入歳出總決算●

●大正二年度各特別會計歳入歳出決算報告並に決算案●

川村鐵太郎伯委員會に於ける經過を報告し大正二年度に於て政府が興業銀行を救濟する爲め國庫金の運用と稱し豫算に據らずして同行に金五百八十萬餘圓を貸付たるを不當と認むるの決議を爲したる事及び其の他政府の支出を不當と認めたるもの四件ありと報告し報告通り可決

●鐵道敷設法中改正法律案●

添田總裁の說明ありて委員附託

●壯丁稅法案●

●廢兵戰病死者遺族軍人家族救護法案●

右二案を一括して議題とし武富藏相壯丁稅法案は政府に於て研究の後に非ざれば同意する能はず又廢兵戰病死者家族救護法案は大に同情を表する次第なるが財政上の關係あるを以て遽に同意し難しと述べ江木千之氏國家の犧牲となりたる者の家族に對し財政上の關係にて反對するやと反問し武富藏相反對理由は委員會に於て詳述すべしと述べ

●市制中改正法律案●

●町村制中改正法律案●

●府縣制中改正法律案●

以上を一括して南岩倉男委員會に於ては原案を否決せりと報告し報告通り可決

●齒科醫師法中改正法律案●

松平賴壽伯委員會に於ては修正可決せる旨を報告し報告通り可決十一時十五分休憩を宣す

午後一時四十分再開直に日程に入り

●實用新案法中改正法律案●

藤田四郎氏の報告ありて報告通り可決

●砂鑛法中改正法律案●

石黒五十二氏の報告通り可決

●罹災救助基金法中改正法律案●

島津忠麿伯の報告通り可決し同五時五十五分散會せり（東京特電）

衆議院（二十六日）

▲人權蹂躪案

衆議院は二十六日午後一時二十分開會、重要議案議了後にて殘れるは御土產案のみ議場空席多く惰氣既に滿つ諸般の報告後日程に入り

●重要物產同業組合法中改正法律案●

丸山芳介氏（國民）委員會に於て原案可決を報告し友常穀三郎氏（政友）の反對意見に對し岡商工局長大工場の製品には粗製品少なきも小工場の製品は我製品の聲價を失墜する事少からず故に之を統一し海外市場に於ける聲價を高めしむる手段として本法を制定せりと辯じ原案可決を希望し岩本平藏氏（政友）との間に二三の問答あり採決の結果可決確定

●蠶業試驗施行收支國庫補助法中改正法律案●

伊藤悲之助氏（同志）の說明ありて委員附託

●人權保護に關する建議案●

●刑事訴訟法中改正法律案●

加瀨禧逸氏（中正）兩案を一括して修正可決せりと報告し

▽廣岡宇一郎氏（政友）本案提出の根據は二本榎事件小森事件等の事實を基礎とせり當局は之等に對する事實を認むるや否やを質問せるも當局は調查報告すべしとのみにて未だ明答せず此の際調查經過の答辯を望むと述べ

▽湯淺警保局長 小森事件に對しては行政上相當の取調をなしたるも事實を認むる能はず司法事件として檢事の手に於て調查中なり二本榎事件は人違ひありたるは事實なるも拷問の事實なしと辯明し

▽廣岡宇一郎氏（政友）尚政府委員の答辯要領を得ず大臣又は參政官の答辯を望むと迫り湯淺警保局長答辯せんとせしかば廣岡氏は政府委員は本員の質問要旨を理解せず斯くの如き其名の微々たる屬僚の答辯を聞かずと主張したるも大臣參政官の出席なき爲め止むを得ず廣岡氏折れて湯淺局長種々辯明に努め

▽廣岡宇一郎氏（政友）大臣參政官の不誠實なる事を記錄に留むる事とし質問を中止し次で

▽高木益太郎氏（國民）尾崎法相田川、關の兩參政官は在野時代人權保護を主張しながら何故當時の主張を曲げ本案に反對するやと質し

▽尾崎法相 人權保護に關しては敢て人後に落ちざるも本案には反對なりと述べ

▽關和知氏（公友）人權保護の目的は同感なるも本案は徒らに司法官の行動を制肘し進路を阻害せしめ以て經費のみを增大せしむるに過ぎずと論じ更に個々一過失を捕へ來つて振の如き極端なる法を設くるは是れ抑々官僚式なりと反對し望月氏、長尾氏の間に刑法第百九十三條の解釋に就き二三の問答を交はし次いで

▽齋藤隆夫氏（同志）本案は司法檢察官の取締案にして司法檢察官の監督者に對する不信任案の變形なり尾崎法相就任以來人權蹂躪の聲高まりしは事實なりと斷ずるや岡部次郎氏（中正）大竹貫一氏（中正）等△△△黨の面目を如何△△せん法相の面目を如何せんと叫び同志會幹事席に驅け付け齋藤氏の演說を中止せしむ可しと交涉し政國兩黨よりは頻りに拍手起り齋藤氏の勇氣を稱揚し在野黨の拍手を浴びて齋藤氏悠々降壇、大塚茂馬氏（無所屬）贊成意見を述べ

▽尾崎法相 本案は杜撰にして取るに足らず本大臣に對する不信任案ならば何故正々堂々不信任案を提出せざるや然るに斯の如き卑怯なる案を提出し以て余を攻擊せんとするは寧ろ衆議院不信任を表明する者にあらざるかと反對し此の時各派より發言を求むる者續出し議場騷然たり山口俊一氏（同志）議事進行に關し發言を求め一時休憩す可しとの緊急動議を提出し多數にて休憩に決したるも政國兩黨より異議を申出しかば動議の可否を投票に決することゝし記名投票を行ひ開票の結果可とする者百三十七名否とする者百二名にて休憩に決す時に午後四時廿分なり

▲喧囂裡に散會

午後五時五十五分再開、望月長夫氏（國民）は議事進行に關して發言を求め本日の會議を開くに先だち各派交涉會を開き會期切迫の今日議事進行の申合せを爲したるに拘らず與黨よりは休憩を發議するは不都合なり宜しく休憩前の議題は討論を終結し採決を爲すべしと發議し同志會席より反對の聲起り採決の結果討論終結の發議は少數にて否決となれり此時議長は正規の時間到來したれば散會すと宣し退席す時に同六時なり野黨は議長橫暴を連呼し喧囂裡に散會せり（東京特電）

●同志會の否決

鮮米移入稅復活案

同志會にては二十六日議員總會を開き大正三年法律第十七號廢止法律案（朝鮮米移入稅復活案）を否決することに決せり（東京特電）

●上院核子等案可決

廿六日貴族院に於ける朝鮮の生產に係る生果核子及び銅の移入稅に關する法律案委員會にては衆議院修正通り

銅を金屬に變更して可決

し又大正三年度豫備金支出の件委員會に於ては孰れも承諾を與へられたり（東京特電）

●ヴェルダン戰愈猛烈

獨軍一部の退却—驚く可き獨軍の損害—佛軍戰線の突破不能

佛國ヴェルダンの北方に於て佛軍の戰線を突破せんとせる獨逸皇太子軍の奮鬪は方に五日間繼續し愈々其の猛烈の度を加へたり二十四日ミューズ河の右岸とオルネ河との間に於て獨軍は無益の損害を避くる爲め二三地點より退却を開始し首尾好く目的を遂したり後送せる佛國負傷兵の言明せる處に據れば此度の砲火は從來の戰爭に於けるよりも遙かに猛烈にして獨軍の損害は實に驚くべきものありと尙巴里にては佛軍戰線は決して突破し得べからざるものと一般に確信し居れり（倫敦電報）

●ヴ北方戰役と批評家

佛國ヴェルダンの北方にては佛獨兩軍の大衝突起り戰聲所に轟々たり佛國軍事批評家の言に據れば此の戰に於ける主要の點は獨軍に最大極度の損害を與ふるに在り局部的に見たる一寸一尺の地步をも固守すと云ふが如きは全く問題とする處にあらず（倫敦電報）

●大連の飛行將校

付田飛行機班長は二十六日夜大連發奉天へ行きそれより朝鮮經由歸國の筈他の飛行將校は廿七日も學校生徒の爲め講話を爲し尙ほ大連旅順を見物し來月二日出帆の哈爾賓丸にて歸國す可し何れも元氣極めて旺盛なり尙ほ大連官民の重なる者は二十六日夜扇芳亭に一行を招待し歡迎會を開けり（大連特電）

●二月中旬荷動狀況

二月中旬の荷動狀態を見るに發送噸數四萬〇二百六十一噸收入九萬一千三百卅圓にして之を前年に比較する時は數量に於て八千四百十三噸（二割六分）收入に於て四千百七十七圓（四分七厘）の增加を見たり左の內米は米價依然として不盛にして市況沈靜を持續し荷動き頗る緩慢にして前年に比し三千八百七十四噸の減退を示せり而して之が落地別數量を見るに釜山の千百五十五噸第一位を占め南大門龍山の五百十八噸を第二位とし仁川の四百十二噸第三位にあり群山の三百六十九噸滿洲行百六十四噸元山の百四十四噸次ぎ其の主なる發驛は金泉、鳳山、鎭南浦、平澤、南大門、裡里、泰仁、新義州等とす礦石の增加は是れ亦前旬に於て述べたる如く价川鐵鑛石及び鎭南浦久原製錬所に集荷せる金鑛石の出荷旺盛なるに因るものにして前年に比し千十八噸前旬に比し二百噸の增加を呈せり价川鐵鑛石は目下凡て鎭南浦に仕向けらる金鑛石の主要發驛は中和、黃州、郭山、宣川、土城、仁川等とす之を要するに本旬の貨物運輸は舊正月の影響にて未だ全く常態に復するに至らざるも之を前年に比較するに概ね進境を示し（尤も前年舊元旦は二月十四日にて本年は同月四日なりし關係なきにあらざるも）就中礦石の荷動は頗る良好なる者あり爲め豫期の成績を擧ぐるを得たり

●京城金融狀況

京城商業會議所の調查に係る京城客月の金融狀況を聞くに昨冬米價の奔騰に伴ひ市場出廻稀有の巨額に達せるより內地の米界は之が消化力を缺き在庫米の處置に苦しみし爲め客月中旬頃より漸次米價低落の傾向を來せしかば、當月初旬以來出穀は殆んど中止の情態となれり、之に加ふるに大豆の如きも亦昨冬一時輸移出の盛況を呈したる反動と、舊節季差迫り出廻薄との爲め輸移出杜絕し從つて此の方面に對する資金の需要激減せり、只移入綿糸布類及び諸雜貨は舊正月を控へたると近來鮮人間購買力の增加と共に相當賣行の好況を呈し舊節季に際しては多少決濟資金納稅資金等の需要ありたるも未だ沈衰に傾ける人氣を恢復せしむるに至らず、金融界は新春に入り次第に緩慢の狀を呈しつゝ越月せり今一月末京城市內九銀行の殘高を見るに之を前月に比し預金に於て二十七萬三千餘圓を增し、貸出に於ては八十六萬七千餘圓の減退を示せり、更に之を前年の同期に對比する時は預金に於て五萬五千餘圓、貸出に於て三百三十二萬餘圓の減退を示せり

◎隈部警務部長の巡閱

隈部京畿道警務部長は貫野警務部外巡查三名隨伴二十七日より十一日間の豫定を以て管內水原、安城、振威、驪州等の各警察署を巡閱すべしと

□京城戶口（昨年十二月末調查）

京城府內に現住する昨年十二月末現在に於ける人口數を見るに內地人戶數一萬六千九百三十三人口六萬二千九百十四人にして內男三萬二千四百九十九人女三萬零四百十五人朝鮮人戶數三萬七千八百六十二人口十七萬六千零二十六人にして內男九萬零百八十五人女八萬五千八百四十一人支那人戶數四百六十三人口一千八百六十九人にして內男千六百十一人女二百五十八人其他外國人戶數百零九人口二百七十六人にして內男百三十七人女百三十九人にして以上を合計すれば戶數五萬五千三百六十七戶人口二十四萬一千零八十五人なり

○而して右の內の六萬二千九百十四人の內地人が如何なる職業に就きつゝあるかを調查するに農業牧畜林業八百十九人漁業製鹽業四十六人工業及び鑛業八千六百十八人商業交通千二百零八十一人公務自由業二萬五千六百十三人其他の有業者一萬零九百三十四人無職業者及び職業を有しながら不明なるもの四千八百十一人なるが

○更らに之を移住者の縣別に見るに山口縣の五千四百五十一人を最高とし福岡縣の四千四百四十三人之に亞ぎ而して最も少數なるは沖繩縣の二十二人青森縣の三百零九人等にして東京は四千二百三十九人なるが之れは一時東京に籍を移したる者が其多數を占め居り純然たる東京生れの者は極めて少數也と

◎ハ監督歸國に就きて

美以派監督ハリス博士は米國傳道會社の年會列席の爲め近々出發東京を經て歸米の途に上る筈なるが博士が同時に監督の職を退任するが如く傳ふる者あるは全くの誤謬なり尤も監督の四年の任期滿了し居り且七十の高齡に達し居るに付き今後重任繼續すると否とは本人の健康と教會の都合に依る事なるも博士の意向は尙ほ强健讓りなきを以て引續き日本及び朝鮮の傳道事業に從事せんことを希望すと言ふ、顧ふに博士は最初桑港に、後ち日本に在任し傳道の事業に從事する實に五十年の長きに涉り居れば七十の老境に達せし今日最早や退任休養し餘生を安樂に送られん事は親戚知友の望む處なるべきも素と是れ一片の私情に過ぎず博士の健康壯者に讓るなく熱誠の希望又前記の如しとせば尙ほ繼いて傳道及び社會公共の事業に盡瘁せんことは朝鮮民人の啓發及び幸福の增進を圖る上にも博士の崇高なる人格は與りて力ある次第なれば其繼續重任せんことは吾人の切に希望し止まざる處也

人事消息

▲三宅驥一氏（遞信省電氣局管理課長）入城中の處二十七日歸任

▲澤田秀氏（航空隊附工兵中尉）二十六日夕入京不知火旅館へ

▲ボード氏夫妻（米國軍人）クルスルツク氏（米國商人）ミス、ハーガマン氏（米人）二十六日夕入京朝鮮ホテルへ

■南言北語■

ウヰルソン大統領が若し此の上獨逸と交涉を重ねる事があらば米國は斷然國交斷絕をやる▲なんて又た弱い事を云つて居るすると獨逸外相フオン、ヤゴーはヘン何と云つても三月一日から武裝商船は軍艦と見做して片つ端から擊沈するのだと云ふ▲それぢや交涉を重ねるも絲瓜もあつたものではない▲獨逸は最うチヤーンと米國の意嚮の在る處は知つて居るから拔く／＼丈けではピクともすまい▲日本の軍艦が地中海で遊弋して居ると云ふ說は獨逸側から出て居る▲虛言か事實か其樣な事は云ふ限ではないが流石の獨逸も日本と云ふ言葉を聞くとピク／＼ものらしい▲イヤ獨逸許りではない御近所にも一人居る此の人種々の細工をして居るが頓と蝮蛇で自繩自縛だから見て居ると氣の毒なよりも滑稽だ▲處が愈々玆に藥詰になりかけた大事件が出來た▲云はゞ之れが帝政成敗の關ケ原である▲實際雲南革命軍の討伐も厄介だが此の方はまだ／＼さう悲觀する程の事はない▲然らば何にかと云へば矢ツ張り國璽と張勳との行動だ▲イヤ其樣に彼等が恐れられては居ないのだらうと云ふ人があるかも知れぬけれど▲昨年の十二月三十日に阮忠樞が密旨を帶びて江蘇省に馮を訪うてより今日迄僅か二箇月間に總統幕僚四名が馮張を訪問してヤイノ／＼をきめて居る▲それから又今度阮忠樞と蔭昌が兩人で訪問する▲處が生憎張勳は帝政には贊成だけれど皇帝たるべき者は宣統皇帝であると頑張り▲馮は尙早を主張して鳥渡動き相にもない▲今回阮と蔭との訪問で首尾能く說破して合意點を見出すや否やは問題だが▲其結果で愈々帝政形勢の結著がつくのだらうから刮目に價する▲但し之れが爲革命軍が戰を戢めると云ふ事は先づあるまい

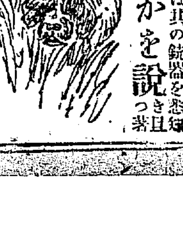
◎支那の內國公債

內國公債局總理梁士詒は當面の急需[illegible]元とすべきも西南數省の離叛西北の動亂及商民の疲弊金融の梗塞等幾多[illegible]存在せるのみならず[illegible]網羅せる方針にて此際最も賴みとすべきは官吏殊に省縣の長官なり全國官[illegible]を吸收して中央の用に供せしむるを得べしかくの如くせば從令豫定の結[illegible]

[illegible]の組織は直接使送次の督促を經て略完成し之を統一して指揮訓練を與ふ[illegible]して自ら檢閱を行ふべし國防の編制及び教練に關する規定は將軍署に於て起草頒布する筈なり（奉天）

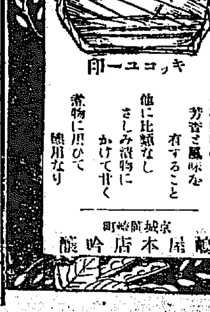
[illegible]も最近に庫倫地方に百餘名の[illegible]來し商民を劫掠せる勢猖獗なる由にて段將軍は吳興守使に兵一營を派[illegible]

[illegible]り當時の模樣を記さんに忠淸南道富里浦より仁川に入港の汽船羅麼丸が同地より廻著すべき玄米百六十三叺[illegible]忽ち激浪の爲め船內に波浪浸入し[illegible]間も無く沈沒せり之を認めたる臨[illegible]麼丸船長は入名の船員を直に同船に[illegible]

◎特價發賣申込の好時
銃獵之趣味
青坡吉村君潔著
見！銃獵の手引—多獵を希望せん人—朝鮮の獵地を知らんとする人—
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を悉知せざるが爲なり
本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり
獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地を教ゆる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢特價金三十錢（郵稅六錢）
發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

京城春川間自働車運轉廣告
京城春川間自働車營業を今月廿五日より開始仕り（毎日午前七時京城發）親切叮嚀に取扱可申候間御旅行の方は御乘臺の程奉願上候
京城南大門通り一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一一九番

京城電氣株式會社製品 コールター 特約販賣 龍山漢江通八番地 巴商行 樋口米太郎
鑄鐐其他鑄造製作 久保田鐵工所代理 同 工場 電話四三四番
電氣用品工事設計請負 中村製作所代理 同支店 京城黃金町三丁目三四〇番 電話一四三五番
石財販賣（當方持山）

陸軍御用達 最上醬油

キッコーユー印
一種獨特の芳香と風味を有すること 他に比類なし さしみ醬油にかけて甘く 煮物に用ひて徳用なり
京城旭町 鶴屋本店吟釀

京城旭町一丁目（鈴木醫院跡）
內科小兒科 小林醫院
入院隨意（普通病室並に隔離病室） 醫學士 小林千壽 電話六九一番

攝津灘 大塚釀造所吟製
金露
京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意 電話二六〇番

擁保利き…て何れも確定し居らず政府部内の豫…かゞれ至…額の募集に成功する…長官をして其大小…民間の資金…奉天省各縣鄉村の自衛機關たる團防…め道尹は…四回管下の團員を招集…蜂起せし蒙匪は既に鎮靜に歸したる…

◉吹雪の中に一點の火光

咸鏡丸坐洲の刹那―昌平丸船長の談

江原道注文津より南方三哩の沿岸の海濱に坐洲せし朝鮮郵船咸鏡丸の救助に向ひし同社汽船昌平丸の飯盛船長の談に

廿日午後は大變な時化で且つ吹雪であつて一寸先は闇で陸地を見る事は無論出來なかつた、其れで船は襄陽を出帆してから汽笛を鳴らし徐航し來り既に注文津港へ到着し居るならんと思ひしも

▽何處が港やら 判明せぬ止むを得ずストップを掛けて吹雪の歇むのを待つ事とした、同船が停船後間もなく吹雪が多少薄らいで來た際陸地の方に當つてチラッと燈火を認めた故に同船はロッグの結果注文津沖合へ來て居るものと思うて居る際なれば右の燈火を認め而も其の

▽燈火が注文津 廻漕店が揭揚する球燈とよく似た揭所であつた故必定同地點を注文津と思ひ同燈火を認めた方向より察して陸地に向ひ徐航し初めたのであるが同所が鐵津濱邊とは神ならぬ身の知る由もなく遂に砂濱へ乘り上げた斯くて

▽船の進行が止 つたので初めて同所が注文津に非らずして他の地點に坐洲した事が判つたが其の後吹雪が益々强烈となつたから其の何れの地點であるか判らず何れも非常に心配して甲板積にして居る鰊約三百個は直に海中に投じ船體の傾斜を防いだ斯くて翌早朝

▽吹雪が歇むと 共に同船は鐵津の濱近くに坐洲して居るのを發見し同船事務長は怒濤を冒し單身上陸して三哩北方の注文津に至り同所より各地へ遭難を電報した昌平丸は本社より救助の電命に接し廿一日元山出帆廿二日午前八時半頃

▽現場に到著せ しも波浪高くして近寄れざるより一等運轉士及び事務長の外水夫二名と朝郵會社元山出張所員一名とを端艇に乘せて陸地に向はしめ咸鏡丸救助の打合はせを爲さしめんとしたが同端艇は海濱に到著すると共に遂に破壞し乘組員は僅に死を免れ上陸した斯くて陸上より咸鏡丸と

▽救助の打合せ を爲し昌平丸より陸上にワイヤロープを渡し置き之を便りて咸鏡丸に船員を送り同日午後二時過ぎより曳卸し作業に著手した中途太きマニラ綱四回切斷され廿三日午前三時半漸く

▽十五六間を曳 卸し大に力を得廿三日午前五時頃全羅丸同五時半頃第七平安丸來着平安丸をして注文津へ解船を曳きに至らしめ昌平全羅兩隻にて曳卸しに從事する事となり同日午前九時より作業を開始したが容易に離洲の見込がなかつたので同廿五分に至り中止したるに恰も解船來着に付積載

▽貨物を全羅丸 と昌平丸に移し午後一時半頃再應昌平及び全羅の兩隻にて作業に著手し同二時無事曳卸した同船は直に單獨にて注文津に航行し潛水夫をして破損箇所を取調べせしめしも同船體には何等異狀なく船底のペンキが少しく剝がれ居る位であつた同船の

▽乘客は七十名 位にして船客は遭難翌日郵便物と同時に注文津に揚陸した貨物の大部分は全羅丸へ移乘し殘部の貨物は本船に積載して歸航した（發田）

◉二萬圓を貰つた女髮結

淸津廣井氏義擧

朝鮮淸津に於ける慈善界の成功者廣井辰太郎氏は過日商用にて來阪中なりしが同氏は女學校の先生より女髮結に身を落して髮結の改良進歩を圖りつゝある大阪美粧俱樂部山本久榮子とは十年前からの知合にて今回の來阪を幸ひとして久榮子に面會せるが同氏は久榮子の才腕ある見込み金二萬圓を無條件にて提供寄贈し大いに久榮子の事業を後援することゝなりたり右に就き久榮子女史は往訪の大阪支局記者に語るらく

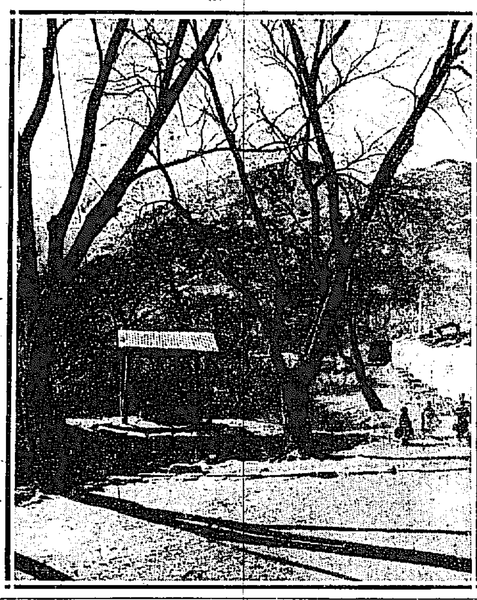
御存知でも御坐いませうが私は紀州の生で大阪に來てからは未だ日も淺く從つて大阪の事情も詳しくは存じませぬ、現に角私のやうな學校の

▲女教師から 下つたものですから世間の人々から誤解されるのも道理だと思ひます、私が此の女髮結をはじめ美粧倶樂部を起してから最早や八年ばかりになりますが元來女髮結と云ふものは男の理髮職人と一緒に尤も賤しい職業と一般の定評だつたのみならず、また女髮結自身でもさう信じてゐたのですが、時代の進歩するに從つて從來のやうな

▲品格の最も 劣等なまゝでは迚も滿足に營業を繼續して行くことは出來ませぬ、女髮結は御存知の通り立派な貴婦人や令孃のお髮を手にするので餘程品格に注意を拂はねばならぬにも拘はらず今までの女髮結は何うかと見ると人格なんかは素より念頭に置て居らず覺えて來たまゝの仕事を繰返して不愉快ながらもお客樣に滿足を與へてゐたに過ぎませぬ

▲女髮結改良 今更ら私が云ふばかりでなく早くから云はれて居るのでありますが扨て改良と申しましても何う改良したら良いか判りませんが私の意見としましては第一に女髮結は品格を貴ぶこと、第二は技術の進歩發達を計ることだと思ひます、女髮結に人格も品格も備はつてゐないとは私等が幼ない間から聞いて居つたのですが扨て自分が之れを職業として女髮結界の裏面を見ますと實に驚くばかり腐敗して居ります彼の昨年十一月の大典當時私は大阪で

▲女髮結模範 團と云つたやうなものを作り總計百餘名のものが京都に參りましたが案外の好成績を得ましたので大阪に歸つてからも是等の女髮結と時々會合を催し改良と進歩發達を計つて居ります、廣井さんとは古い知合ですが今回二萬圓を提供して下さるのも私の要求したのではなく先方から是非にと勸められたので、若し私が之れをお受けした以上は自分の理想通り女髮結の改良をなす者へで居ります（大阪支局）



うらゝか　北門のほとりにて

◉豐公遺物展覽

淀君に宛てた艶文

大阪府立圖書館にては二十五日創立第十二回記念日を卜し豐公贈位記念を兼ね遺物展覽會を開催したるが出陳は約百二十點に達し書狀、消息、朱印狀等多數を占めたるが其中にも殊に注目を惹きたるは明服蒔繪の豐公像と御朱印狀なり此れは平野郷末吉勘三郎氏の出品に係り右像は末吉家相傳のものにして無銘ながら秀吉公の壽誕に値すべく御朱印狀は豐公の家の要滿時代に庇護したる末吉家先代平次郎氏の誠意に酬ゐるため關白が特に天下旅行隨意の朱印狀を與へしと云ふ珍史實なり、其他上野理一氏の豐公の消息三幅と勝尾寺の淀君消息あり殊に振ひ居るは志紀長吉神社藏の豐公が淀君に艶文を送りたる文中に『そのよさにそもじをそばにねさせ申候べし』とあり豐公の淀君を如何に愛し居たるかはあり〳〵と窺ひ知るを得て面白きなり（大阪支局）

◇蘇芳、山梔子、椿の灰、染藍

染料植物は昔からいろ〳〵ある

今日でこそ染物に用ふる染草が歐洲戰亂の爲獨逸からの輸入杜絕して非常に高價となり當事者は大に困つて居るが輸入されない以前は我邦では抑も何を使つて居たらうか試みに之を調べて見ると染草の事の書いてあるのは古い本では延喜式で其縫殿の所に其の

時代に用ゐた染草 の事が出て居る當時天皇の御服なども紫や蘇芳、山梔子、茜紅の花、黃櫨、苅安、椿の灰、眞木の灰、染藍などで染め又酢も染物に用ゐたとある即ち赤は紅と蘇芳とで染め黃は黃櫨や山梔子、苅安などで染た又黑は橡や漆の葉を用ゐ紫は紫草の根で染たのである黑を染る橡は即ち櫟の事で又どんぐりの木ともいふ此木の皮を煎じると汁が出る其に鐵を入れると黑くなる昔はつるばみ色と稱して喪儀に用ゐた

黑き色は此殼で染 た者である蘇芳は支那から來たので日本にはない併し種を蒔けば直に生える之は印度にもあるから臺灣の如き地に植れば繁殖するは疑ない以上に傳はつて居る米澤では紅の栽培を大いに行ひ阿波では藍を盛んに作つた然るに段々と西洋の輸入品に壓倒されて

今は見る影もなく なつた此の他日本の草根木皮で染料になるものは澤山ある夫等は次第に利用すれば外國から染草が來なくとも何等不便を感ずることはない又今の間に是等の染草や其染方を調べて置かないと皆忘れて了ふ茜の染方は極めて難しいもので昔茜紫を延喜式に染めたものが正倉院などにあるが少しも色が褪て居ない今日の染ではさうは行かぬ

迚も恁うは出來ぬ 茜染の方法も研究すべきである古書を調べると染方の秘傳といふものが藏つて居るけれども現在紺屋は之を知らない今の茜染は大抵蘇芳と紅を用ゐてある而して茜は野生して居るものもあるから大いに栽培するとよい實に染草のみならず藥草も之を我邦に栽培すれば西洋と同じ物が出來る栽培するものが面倒臭いから從來多く買つて居たのだ阿片の如きも我邦で盛に栽培されたいものである

◉四百圓の橫領 德島縣名西郡高志村大字下六條生れ當時全羅北道金堤郡水滿面院坪里居住雜貨商中山政一（三三）は同郡金萬面下々里居住張華圭（三二）の委任を受け群山山田茂吉なる者より金千圓を借り受け内四百圓を著服橫領したる外同樣の手段にて莫大の金員を橫領し其の筋の手に捕へられ取調べの上全州法院支廳の公判に附せられ同法院にて公判開廷懲役十箇月に處せらる

□懸賞歌謠締切愈明日□

◉輕鐵轉覆事件 咸南咸興郡南州東面營德里の二統八戶農韓錫寬（三二）が大正四年十一月二十三日午後三時頃居里にある咸興西湖津間輕便鐵道踏切を通過の際自己の牽き居たる牛車の通行に便ならしめんが爲め附近にあつたるレール三本を右の踏切鐵道線路に橫へて通過し其儘に放置したる爲め同日西湖津より咸興に向け建築列車が午後三時二十分頃右の踏切りに差蒐りレールに衝突して轉覆し乘組員大岡德禎を即死せしめたる事件は咸興地方法院に於て懲役八年の判決となりたるを京城覆審法院に控訴して前判決を取消し無罪の判決となりたるが檢事は再び上告したる事件に關係し同里の洪淳欽（三二）が咸興地方法院に證人として出廷したる際僞證をなしたる爲め同法院に控訴したるに是れ亦證據不充分の爲め無罪の判決ありたり

◉水汲み老人轢傷 京城鍾路五丁目の水汲人夫金德鉉（六〇）は二十五日午前九時頃石油罐にて水を背負ひ禮智洞の電車線路を踏切らんとする際折柄進行し來れる百二號電車に觸れ足を轢はれて救助網に倒れ込み輕微の擦過傷を受けたるも立去り歸宅したり

◉店員の使込み 北海道小樽區花園町當時仁川木町四丁目增田方居住宮川惣五郎（二二）は京城明治町一丁目朧寫版商山搗某方に雇はれ販賣及び集金に從事中昨年七月以降九月中旬迄に商品代五十九圓二十二錢を橫領消費したる爲め二十六日京城地方法院にて懲役一年三年間執行猶豫の處分となりたり

◉十一圓で十年 江原道鐵原郡北面外鶴里尹滋淳（三七）は鐵原邑内に於て同面中栗里の安琦煥が本年一月二十六日牛を賣却して歸宅中なるを知り同夜尹滋三と共謀し鐵原より平康に通ずる山路に待伏せ携へたる棍棒にて琦煥を毆り飛ばして負傷させ所持金十一圓を强奪したる爲め二十六日京城地方法院にて懲役十年の處分となる

◉猩紅熱 京城古市町四十三番地菊川ちん子（一二）は二十六日檢診猩紅熱と判明し入院加療中

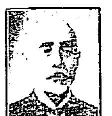
若い時分

春になりました。學校の入學式も卒業式も近づいて來ました。その頃らしく學校を出で、新らしく學校に入る少年少女諸君、及び其學校を出たり入つたりした姉たる方々のために諸名士の若い時分のお話を伺つて見ました。

□十七歳の時

李王職次官　小宮三保松氏

初めは漢籍で終は獨逸語



我輩の十七歲前後は徹頭徹尾外國語に苦しんだものである、明治九年我輩がまだ十七歲計りの頃政府は木戸公の主張により

◆司法省法學校 を建て當時の漢學生を選拔して純粹の歐羅巴敎育を施さんと試みたものである、何分にも當時卅萬圓の資金を以て百名内外の學生を養成し天下有用の材に爲ようといふ計畫であつたから現今の入學試驗にも等しき選拔試驗には大約八百名内外の受驗者があつた、我輩も

◆幸にして入學 が能き明治十七年まで滿八年の星霜を閲して卒業したのであるが現時社會に働いて居る同窓は僅に二十名内外に過ぎない、就中東拓總裁の吉原氏や高等法院長の渡邊氏などは當時の同窓生だが猶ほ知名の人には帝室會計審查局長宮松宝致氏や新男爵横田國臣氏『政友會』總裁原敬君などもある、殊に原敬氏とは餘程親密に交際したものだが先生は中途にして

◈賄征伐か何か を始めて學校を飛び出して了つた、當時われ〳〵が佛蘭西語學修に勉强した事は實に非常なもので誠方、筆記、口頭試驗等何れも皆佛語を用ゐ如何なる難かしい言葉と雖も解せずといふ言譯は許されなかつた、其爲め我輩は學校卒業後南部甕氏の許に進み任御用係となつた當時も

◈法律文書を書 くのに一應始めに佛蘭西語で記して然る後邦文に認めたものである、後明治十九年選拔せられて同窓六名と共に獨逸に留學したのであるが彼處でも亦獨逸語のいろはから始めて分學修に弱らされたものである、考へると我輩の

◈少年時代から 青年期までは初め漢籍で苦み後佛語に惱み更に獨逸に努めたので現代の青年に比べるとこれでも勉强したものである

▲巴里のジョーナル、デ、デバと云ふ新聞に斯んな話が載せてある▲ツイ此の頃巴里に近いモンマートルと云ふ處で熱心の信者らしい若い男女が四五人で馬車に乘つて例もの如うにお寺詣りに出かけた▲途中まで來ると一人のお婆さんがとぼ〳〵と如何にも大儀さうに歩いて居るので馬車に乘せてやつた▲馬車がお寺の門前に止まるとお婆さんは一同の親切を非常に悦んで何にか此のお禮を仕たいが品物やお金を上げるわけには行かぬその代り何んでも六ケ敷い事を知り度いと思つたら敎へて上げようと云ふ▲そこで其若い人達がそれなら婆さんよ、此の世界の大戰亂は何時頃お終ひに成るか知つて居るなら敎へて貰ひ度いと云ふ▲お婆さんはそれはいと易い事であると云ふ顏付で二月か三月の間には必度濟むといつた、一同は何にそんなに早く此の戰爭が止むものかと一向ほんとうに爲なかつた▲一同が信用しないのを見て取つたお婆さんはそれならば私の言ふ事が眞實である事を御目に掛けやう私共が今乘つて來た馬車の馭者は二時間ばかりの間には必ず死ぬと云つて不意と何處かに行つて終つた▲昔あのお婆さんは何を云ふかと氣にも留なかつた▲お寺の參詣を濟して馬車に乘つて歸らうとすると馭者が居ない探して見ると其の馭者は急に病氣が起つて近所の藥屋に駈込んだまゝ頓死して居つたさうだ

京日案內

◈普通（一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢增）

▲看護婦至急募集 希望の者は履歷書携帶午前中來談あれ 京城櫻井町 池上醫院 524

▲讓店 漢陽公園目拔の場所に有望なる喫茶店讓店有御望の向は左記へ 旭町一 天野 電話二〇七〇番 522

小作入用 畑三反半家屋拾貳坪付 京城立門外所在 京城本町三丁目 森川食糧品店 517獨

店員入用 年齡廿歲前後にて商業經驗ある市内に確實なる保證人を要す 京城本町一丁目日下部商店 電一一一二 516

◉果樹栽培に經驗ある者一名至急雇入れたし確實なる保證人を要す 姓名在社 509

◉古本買入 ▲▲御報參上 地方送金 京城本二 森山文光堂書店 363

有利業務 男女外交員募集 希望者來談 東京斯道會斯道發行所朝鮮支部 京城古市町一四（電車通）電五八五 395

◉幅引大景品付代價表進呈 ◉種苗 北海道札幌區農科大學正門前 札幌農園 367

給仕（但集金兼ね）募集 十七八才迄 希望者は履歷書持參さるべし相當の保證人を要す 旭町二 朝鮮雜誌社 520

◉上等貸間 家族同樣 一ケ月十圓以上 京城本町一の三八 電話二七七二 515

◉藥局生一名缺員あり希望者は本人參院す可し ▲仁川 佐藤醫院 506

▲古本買受▼ ▲▲御報即時參上▼ ▲地方即時送金▼ 京城本町電話二五二 七ウツボヤ書店 318

◈番外（一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢增）

春川 忠州 原州 方面行 牛車 駄馬 貨物運搬取扱元 龍山 西村商會 出張所 ▲京城北米倉町 ▲電話二九〇二番 523

生ガキ特約販賣店 京城旭町二丁目（府廳東側）御問屋三友商會 電話三一二六 521

高價買入古寫眞機 大阪上田寫眞機支店 京城南大門通三丁目 電話五四九番 512

忠州行 牛車貨物取扱開始仕候 到著迅速運賃廉價取扱候 京城鍾路五丁目 ◉振替參貳八九 ◉電話貳貳九壹番 酒井運送店 504

解傭 販賣集金係 右獨立開店の爲め解傭致候今後一切關係無之候 京城黃金町一丁目 三巴商會 519

恩給 年金類低利長期立換 不便な方法あり 其他擔保信用貸仕候 京城南大門外御成町 山口屋 338

表具師 ▲表裝屏風額類一般迅速調製 ▲調製親切配合至極宜敷を得 京城壽町 達磨堂 358

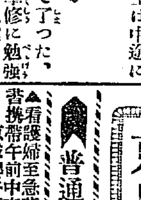
▲閑靜にて眺望佳絕市內出入極便 ▲宿料特に低廉 ◉旅館御料理仕出 下宿 ◉西小門町 電六六三 ◉客室淸潔取扱親切（全部電燈完備） 橫松舘 388

質商 ▲移轉廣告（元伊佐） 弊店は秘密を守り親切を旨とし御客樣の便利を計り申候 黃金町一丁目大正館北横丁櫻井町角入る 東屋 382

◉一二月十五日より大安賣 ○東京玩具雛と人形外一切の玩具 ○地方は御注文次第送附す 京城本町二丁目 ▲佐藤玩具店（壽館前） 373

◉新荷著アンクル式片側懷中時計◉

機械堅牢示針正確精巧無比 然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比



形	品	價
十九形	ニッケル側	一圓九十錢
十八形	ニッケル側（機械裏示）	二圓十錢
十三型	同（兩蓋）	二圓九十錢
十九形	同	三圓九十錢
十七形	銀	三圓九十錢
十八形	金鍍金側	五圓
十九形	ニッケル側刻兩蓋	十六圓
十六形	同時計	四圓二十錢
十二形	同 ワグニューム付	十圓
十二形	同	九圓
十二形	銀	十一圓五十錢
十一形	鐵銀付	十二圓二十錢
十九形	金パリ（十年保險）	五十八圓
十八形	同	二十八圓
十八形	同	廿一圓五十錢
十二形	銀	十二圓五十錢
十六形	十八金	百十五圓
十九形	同	百五十五圓

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して御愛顧を乞ふ 御用命の節は地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貴直輸入商　イングレッシー商會

本店 京城本町二丁目電話九七二番

新刊書御案內

書名	著者	定價
私法論文集	松本丞治	二、三〇
納稅施設例彙	東京稅務局	一、五〇
貨幣論	青木得三	一、五〇
水力發電所の設計	中村、朝倉	一、〇〇
新式飛行機の原理及模型製作法	井関十二郎	一、二〇
小學校に於ける物理教材研究並に實驗法	松田、折井	一、五〇
國語教授改實際	國語研究會	五五
新撰獨逸自修文典	納谷貞祥	六〇
受驗必携數學講義	原、湖吉	二、五〇
歷史地理試驗問題解答	中村、櫻井	一、六五
彌次健胃法	荻山、稻吉	一、一五
スキー術	中口、金井	六五
はやり唄と小唄	湘澤、樋彥	八〇
石の死活と其活用	鈴木爲次郎	一、二〇
かわかぬ袖	篠原、湖葉	八五
稻田一作	浪六	一、一〇
新譯アラビアンナイト	下卷	三、〇〇
獨逸怪船エムデンの奮戰	宮家信男	七五
榮西禪師	木宮泰彥	一、〇〇
蘇峰文選	德富猪一郎	三、五〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

活版　册型製造　活字鑄形　ミシン直シ　京城北米倉町百四十番地　青山母型製造所

國介儀 渡米の途次病氣に罹り京城大學病院に入院治療中の處二月十三日午前十時三十分死去致候間此段生前辱知諸君に謹告候也
追て葬儀は二月廿七日午後四時自宅出棺花町華寺境內に於て神葬執行仕候

父 久木田宗哲
兄 久木田直熊
親戚總代 篠原實 中島健三 嚴元志 松元鶴熊
友人 前原正 壬生一夫

千生瓢（137）

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋（二）

『何とお言やる？』
利家は詞の意が了解らなかつたので、押返して問うた。
『外でもおざらぬ。此度の合戰、首尾よう勝利を得たも、偏に和殿お蔭でおざる。依つて此城に、石川河北の二郡、能登一國を添へて進せたい。和殿其を快く受けらるゝかと申すのでおざる』
秀吉は斯う言ひ補して、屹度利家の動作を見て居た。利家は別に何等の思慮だも費さゞるげに、正しく威儀を修めて
『恩賜の城地、忝なく拜領申すでおざらう』と言受けした。
秀吉は心中に包み切れぬ笑みを含んだ。今まで同列として取扱つた利家が、自分の授くる封土を受けるに於ては、最早我が腹心の幕僚として遇する事が能きるからである。
『さらば能登の國へ發向致さう』
『如何にも御案内仕らう』
城には利家の人數を籠め置いて、直樣能登の國に向けて、進發するのであつたが、長九郎右衞門尉連龍は既に能登を經略して、利家まで版籍を献げ、七尾は固より、孫四郎利長の居城の事とて、能登一國も風に靡らすして悉く平定した。
秀吉は深く地理に熟してゐる。能登一國を巡見して、越中境に至つた時、また前田利家に語つた。
『和殿此の國を治めるに於ては、七尾の城は、彼の分では用を爲すまい。今少し規模も擴げ、要害も堅固に築かせられい』
利家が其の命に從ふを待つて、再び命を下して。
『末森の地は、越中を抑へる究竟の要害ぢや。此處にも急ぎ堅固に取り立てられい』
是れをも利家は命に聽いた。而して意氣昂然と說き出した。
『加賀能登は、孰れも御旗を迎へて一統致しておざる。此の新勝の勢ひを以て、越中に打ち入り、佐々內藏助を誅戮させられい。兵機は今ぞ熟しておざる』
秀吉の首少し首肯くに於ては、直にも馬を出すべき勢ひにて、旗下の諸將より、雜兵輕卒に至るまで、悉く皆勇み立つて見えた。
此時秀吉は徐ろに利家の方に對ひ
『いや〳〵左樣には參るまい。佐々成政は世に聽いた豪傑、上下心一致すれば、輙く手を下すまいぞ』と、頻りに其手を拱つた。
『なれど、此の勇兵を以て、此の大軍を以て、短兵急に討たるれば、內藏助何として支へ申さう』
利家は進軍を勸めて已まなかつたが、秀吉は堅く首を掉つた。
『去る天正三年五月の事でおざつた。故右府三州長篠に於て、武田勝賴と合戰なされた時、首數一萬三千餘級打ち取られた大勝は、和殿も我等も共に御供の列に在つて、能く存知居る所でおざる。其目覺しい勝利に乘じて、其儘直に甲州へ御討入あらうとは、吾人ともに待ち設けた事おざつたが、左はなさらいで、直に歸陣在らせられた。是は御勢ひ御利運此上なし、簡樣の時は必ず天魔の禍あらうずとの御遠慮と思へ申す。我等も今勝家に打ち勝つたれば、安堵此上なく、其上滿氣も出來するかと覺え申す。下々まで勝に乘り勇み悅び興に乘ずる體の見え申す。何事にても勢ひの過るは、身の危さおざる。雖此まゝ三五年も打過る時は、國中一致せず、禍內より出るでおざらう。此時一揉に揉潰さんこと、最と易き程の事おざるわ』
例の行き理を說いて、進出の利なき事を明らめたので、利家も其細心の注意に服して、遂に其まゝ軍を越前に回す事とした。
此時佐々內藏助成政は、北之庄落城と聞くや、莞爾として微笑むで、
『猿奴、必定勝に乘じて、越中に亂入するであらう。縱令天運に幟ひて今日まで我儘を働くとも、我が領分に踏込むに於ては、合戰にも及ぶまい、棒打にして追立て、諷いて上方へ切り上り、彼奴等が素首、懸け並べてくれうずものを』と矢の根を磨いで待ち受けたのであつた。

大塊翁歡迎句會　清州此華會

野田大塊翁の來滿を機とし翁の寸時間たりとも乞ひて歡迎句會を催さんと請ひたるに快諾を得二十三日夜銀杏にて會を催し席上有益なる俳話を聽き尚顧問揮毫を乞ひ各自即吟「此花」の句を吟じて送りたるが同會創立以來始めて迎へし名士にて特に又各自揮毫を得たることゝて會員の滿足此上なく會合者二十餘名常なる盛會なりき

『觀此花會』

地は滿州咲くや此花句ふなり　大塊
俳居士を迎へて花に此句興　城南
詩歌千首花を愛する人幾萬　可紅
此花に月まち得たる今宵かな　葉石
此の花に匂香ばし高麗の春　同入
此の花に現つゝ心や春の暇　買牛
此の花や昔し〳〵の暇　鬼石
此花に思ひ深き人を止めけり　舊波
入道に匂ふ此花今日發ゆ　玄道
此の花や滿蒙の野にも咲き　蕉心
此の花の下には孫の步みかな　虛湖
此花を手折るな不粹の制止札　青笨
咲き揃ふ此花の香や與床し　笠仙
此花や過去と未來を知らぬ樣　圃心
新領や此花香ふ高麗百濟　勁孚
此花や句吟名士の足跡　紫竹
此花は梅か櫻か高麗の民　價滴
勛れし名將に此花香あり　雨翠
新領士此の花植ゑん野に山に　眠石
此北花馬上の名將審めにけり　粟一宗

ソーウル詩社詠草

うら〳〵と雪の野原にながれたる旭のなかに心とけ行く
相別れ見かへる心おさへつゝ歸る夜道に赤きともしび
かゝるときなぐさめくるゝたをやめのあらばいかでか旅をなげかん

讀者の領分

▲處は南大門通り南門湯の入口突然叔父さん是れ買つて下さいよコレ……ふと見ると十歲位の貧しい少年が仁丹を手にして僕の顏を覗き込んでゐる仁丹は僕いらぬもの彼れは此の言葉を聞くと他の通行人を捕へて同じ樣な言葉を繰返してゐたサテ〳〵彼れは抑も如何なる境遇の少年であらう（若い叔父さん）▲ヘーモー一ーカーや明衞等使用する度每に消毒する簡單な法は無いでしようか（お尋ね生）▲頭に螺旋が來るといふ皮肉語が內地で流行して居るさうだ之れは梅毒が頭に上つて來るといふ穩態語であるさうだが仁川にも此種の人達が大分あるだらう（與太公）▲支那町の附近に去年の十二月廿五日から引續き今日迄歲暮の大賣出をやつて居る店がある其證據には歲末に付大賣出し曰く何々錢何々何錢（茶目公）▲何遍云つてもストーブの煙突掃除をせぬ家が多いから北米倉町などを通ると煤煙の雨が降る（白衣の人）市中各戶が撒水をせぬか風の日は塵埃々だ最少し位は宜い故撒いてはならぬけれど（衞生家）

新刊紹介

▲新東洋（六の二）樹樹して全羅編輯主筆の本鐸と云ふグラヒック誌（二十錢大阪市西區江戶堀上町三丁目江北社）
▲英語の日本（二月號）中學三年生以上の程度、英語を學ぶ者に適切なる記事多し（金十錢東京市神田區西小川町建文館）
▲飾花法盛花投入研究錄（一の五）東京市京橋區南小田原町二丁目大日本華道會
▲市町村雜誌（二六七）十錢東京市芝區田村町共社
▲角力世界（五の四五）十五錢東京市京橋區瀧山町角力同好會
▲生活の力（三八）一錢東京市京橋區木挽町六丁目生活社

大石青い灯

一人やむ吾れの家內に夕やみは迫り來り火たけをみなご
何でもいゝ眞面目に働いてをれと いふ其だけのをに生くべかりしか
大人眞似を裝うて澄し居るおかしき科も覺え來にしか
職業のやめがたければ職業の恐ろしくなりぬいかゞなるべき
傍に嘲ふ人なきか
チャン〳〵と火箸たゝきてよろこびぬげに何事か今起り來よ
生眞面な心となりて雜されるわが
これやこの淚さびしも酒の座にふと興ざめてうなだるゝこゝろ
モゥお前も小兒でなしと叱られて叱られし後より寂しさの湧く
野かぎり歌うたひをれば何かなし淚こぼれて罪たゝずなりぬ。

○

藤村幻花

旅の子は風に向ひて口笛を吹きつゝ町に電車待てりき。
酒よ、酒よ、永久にわれをば醉はしめよ、醒めてわが世を見に堪ざりの
醉ひてかへり、深夜の宿の戶を叩くかなしき我と人に知らゆな。

◉中央高等豫備校の新學期　中央大學內なる同校は堅實なる方針を取りて年々好成績を擧げ來たりしが同校理事者は今回の文部省令改正に關して特に熱心に仔細の研究を遂げ來る四月の新學期より諸般の改善を加ふる由なれば入學者に一層の便益あるべし

◉金融界と農債　金融は依然緩慢にして本年に入りて諸國債券の發行等ありたるも一向に緊縮の狀を見せず加ふるに來る二十五日大藏券二千七百萬圓の償還あるに依り一層其緩慢を助せるは條件有利なるに因ると雖も非常の好況にて今回東京府殖產債券の如きは發行額五十萬圓に對して已に四十萬圓に達したれば之亦多數の募集超過を見るべし

生徒募集

京城公立高等女學校

本年四月入學セシムヘキ本科第一學年及同第三學年生徒若干名募集ス
大正五年二月五日

入學志願者心得要項

一、本科第一學年ニ入學セシムヘキモノハ本年四月一日ニ於テ年齡滿拾式歲以上ニ達シ尋常小學校ヲ卒業シタルモノ或ハ本年三月末卒業スヘキモノタルヲ要ス
二、右入學志願者數募集人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フ其學科目及程度左ノ如シ
國語、算術、日本歷史及地理、理科、裁縫
三、第三學年ニ入學セシムヘキモノハ本校第二學年修了ノ程度ニヨリ選拔試驗ヲ行ヒ之レニ合格シタルモノトス其學科目左ノ如シ
修身、國語（日本語、漢文、歐羅巴）、算術、日本歷史、地理、理科（動物、植物、鑛物、生理衞生）、裁縫
四、入學志願者ハ左ノ書類ヲ來ル三月二日マテニ本校ニ到着スル樣差出スヘシ
入學願書（以上本校學則ニ調製セルモノ）
戶籍謄本（大正五年一月以後ニ調製セルモノニ限ル）
學業證明書（小學校在學者ハ本學年度第一學期、第二學期ノ成績及本年三月末卒業見込ニツキ當該學校長）
五、選拔試驗ハ第一學年入學志願者ハ三月八、九日、第三學年入學志願者ハ同十一、十二日ニ行フ志願者ハ左記物品携帶、前者ハ八日後者ハ十一日午前八時マテ本校ニ出頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツヘシ
半紙、筆、墨、硯、鉛筆、小刀、辨當、上草履
六、三月十一日　國語、算術、裁縫、身體檢查
三月十二日　理科、日本歷史及地理
注意　トラホーム患者其他傳染性疾患アル者ハ入學ヲ許可セサルヘシ

村上唯吉著
心機一轉
定價二十錢　郵稅二錢
右內鮮文とも出版出來せり陸續御購讀願上候
京城日報代理部
申込所　京城古市町　孤松書院

受驗者の讀まねばならぬ　朝鮮語會話書

定價八拾錢　郵稅六錢

目次

第一編　諺文
一　諺文の製作　一
二　諺文の組織　一
三　諺文の組み合せ方
四　諺文の綴方
五　諺文の表
六　自習文十題
七　諺文いろは歌
第二編　發音
一　發音の變化
二　い音の原則
第三編　語
一　濁音
二　音の相違
三　音の高低
四　不完全音
五　音便
六　母音相通
七　挿入音
八　○に就ての心得
九　類推略音
第四編　語
一　編の單語
二　章根本的發音の相違
第五編　語
一　自習十題
二　章品詞略解
第六編
一　名詞
二　動詞形容詞及助動詞
（一）即題　十問
（二）適用五十題
（三）即題　十問
（四）未來　十問
過去　十問
用法　尊敬詞
應用例題
代名詞
（一）此
（二）其
（三）彼
（四）汝
（五）私
指示代名詞
人代名詞
四十題
應用一覽表
大附　遞波
第一編　會話
一　接續法
二　命合法
三　疑問法
四　自動詞
五　他動詞
六　敬語
七　形容詞
八　命令詞
副詞
第二編
接頭語
會話
基礎會話
第三編
一　挨拶
二　會話
三　官廳會話
四　訪問會話
五　朝、晝、晚
六　春、夏、秋、冬
七　日、時、月、日
八　天氣
九　旅行
病氣、見舞、病名
身體
附錄
宗教
家具
家畜
植物
農業
買物
雜貨
花卉
果物
衣服
飲食
呼稱
動物
佳句
一束
編　文法及試驗問題集
鮮譯
國譯
文便覽
字音
試驗問題集
判任官
類語小集

來る四月の文官普通試驗受驗者座右の生きたる顧問として歡迎益々盛んにして忽ち初版再版を賣り盡し三版本日發賣速に一本を求めて其眞價を知り給ふべし
取次所　京城大平通一丁目　京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

近頃弊社の東京及全國各地に偽ドラッグを開店し、有り觸れたる賣藥を調製して其筋の免許を得、藥名着し「弊社販賣品とは別物にて僅に十錢の原價を投じて二回の定價を貪り割せられたる者も有り」。
りん病ばい毒專門藥房
京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會朝鮮本部
電話二五六七番　振替京城四六七番
本舖　大阪　合資會社　ドラッグ商會
有の外紛はしき商號を用ふる者に本舖大阪合資會社ドラッグ商會有田製藥と明記しあり此記名無き物は凡て僞物若くは模造品なり、弊社は藥効上の責任を重んずる爲他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ。●りん病藥壹週間分普通壹圓武拾錢特製武圓●詳細本月二日の本紙御覽

國產
煙草代用
森永
「安心して食べられる菓子」
ミルクキャラメル
ポケット入　大金十錢　小金五錢
ニセモノに御注意の上此商標ある森永ミルクキャラメルの御愛用を乞ふ……
東京　大阪　森永製菓株式會社

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸　二月　日後四時出帆
大有丸　三月　日後四時出帆
神代丸　二月四日後四時出帆
蛟龍丸　二月　日後四時出帆
君が代丸　二月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船

京城南大門驛前　松原運送店
全羅丸　三月三日
京畿丸　三月十三日
黃海丸　三月七日
咸鏡丸　二月　日　釜山發
門司より釜山各港寄港清津行
穩城丸　三月四日
昌平丸　三月二日
鏡城丸　二月廿七日　元山發
元山より各港經由雄基行
永興丸　北九州、五山浦行　每月廿八回　元山發
又は長崎延長
登德丸　群山、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行　二月廿八日　釜山發
江陵丸　長生浦、方魚津寄港　每日　（釜山浦項）發
襄陽丸
三浦丸　長承浦、巨文島、濟州、木浦行　二月廿八日　釜山發
海州丸　巨濟丸
統營丸　慶賓丸　各港經由麗水行（三日目一回木浦行）　每日　釜山發
順天丸　各港經由麗水行麗水より釜山行に連絡　三日目每　木浦發
慶興丸　各港經由濟州島行（西廻）　二月　日　木浦發
公州丸　南多島海列島行（月三回）　三月一日　木浦發
公州丸　各港經由濟州島行（東廻）　二月廿七日　木浦發
全州丸　海州鎭各港連山、德洞又は白翎島行　三月二日　仁川發
江原丸　芝宋、大連、青島行　二月　日　仁川發
麗水丸　二月廿七日
晉州丸　各港經由木浦行　三月三日　仁川發
錦江丸　江華島、鎭南浦、海州行　每日午前　仁川發
南陽丸
平安丸　佐賀、大黑山、木浦、門司、若松行　三月三日　二月廿七日　群山發　若松發
復航門司、一木浦、群山行

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　文神丸　二月　日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　三月十六日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　三月七日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　二月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　三月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　三月一日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天璞丸　每月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本舖取扱店　大池回漕部

阿部共同汽船仁川出帆

總督府命令航路　芝罘、大連行
其同丸　二月廿七日午後二時入港　二月廿九日前九時出帆
大連芝罘に於て大阪商船會社航路定期船に接續旅客及貨物共通運賃にて取扱可仕候
一、第一舞鶴丸　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　月　日後九時出港
三、第二海龍丸（元山出帆）　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前八時出帆
（元山出帆）阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目　電話一〇八番　山下回漕部
仁川代理店　田口回漕部
元山代理店（電話二四四七番）
京城取次店　南大門通（電話二六八二〇七）河村運送店

商況
大阪株式市況

●骸炭製造開始　骸炭を使用しつゝある滿洲各地の製造所の中止と共に少からず……つゝありて目下骸炭一萬噸製出商約十二噸に達し其の一部は各地製鐵所